

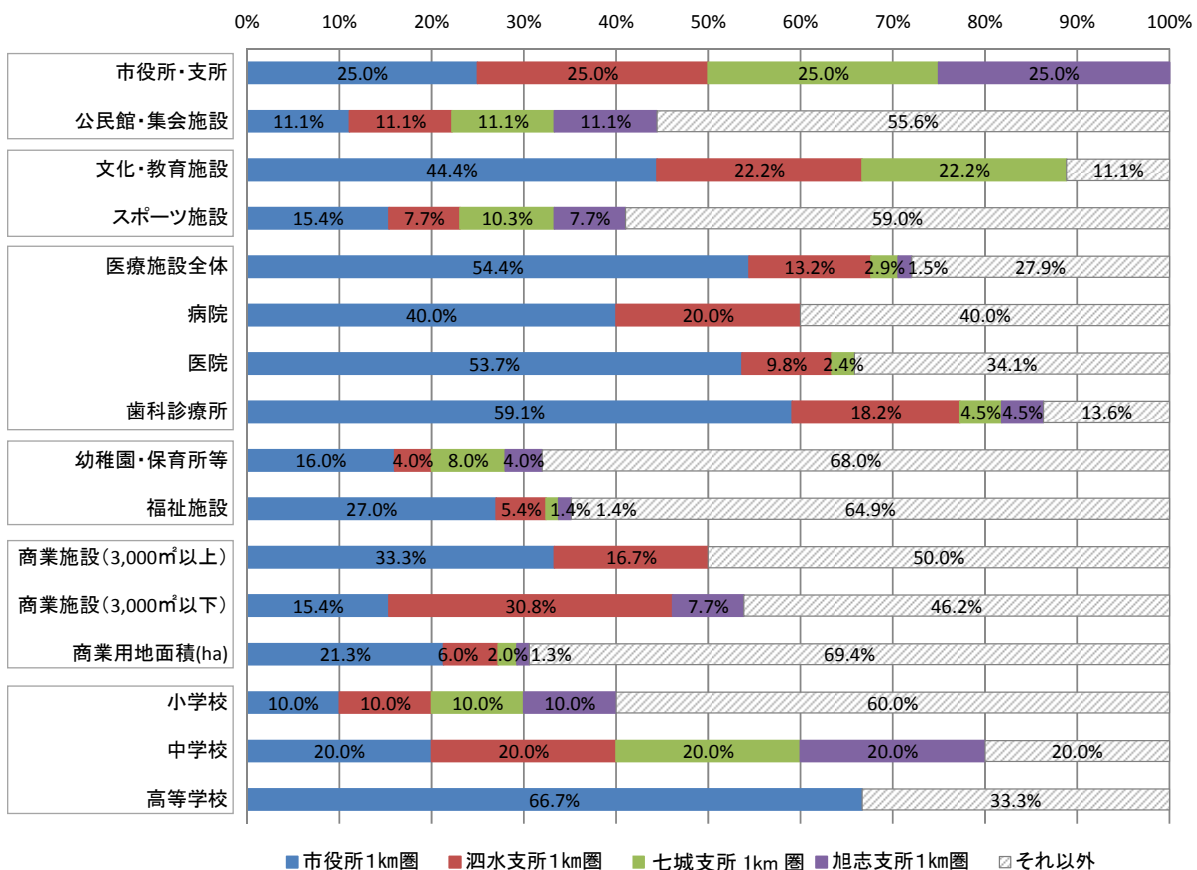
2-3 都市構造の特性分析

(1) 公共公益施設等の立地分析

1) 主要拠点 1km 圏における公共公益施設等の立地特性

- ・立地適正化計画における「都市機能誘導区域」の指定、及び「誘導施設」の検討のため、都市機能誘導区域の候補地でもある、旧 4 市町村の中心地区（以下主要拠点と呼びます）の 1 km 圏について、公共公益施設等の立地状況について見ると以下のような特徴が見られます。
- ・主要公共公益施設として、①市役所・公民館等、②文化施設等、③医療施設、④福祉施設、⑤商業施設、⑥学校の 6 分類とします。
- ・主要拠点 1 km 圏への立地割合が高い施設は、文化・教育施設等（集積率 89%）、歯科診療所（集積率 84%）、中学校（集積率 80%）、医療施設全体（集積率 72%）などです。
- ・一方、拠点外への立地が多い施設は、幼稚園・保育所等（拠点外集積率 68%）、福祉施設（拠点外集積率 65%）、小学校（拠点外集積率 60%）、スポーツ施設（拠点外集積率 59%）です。また、商業用地面積も拠点外集積率が 69%と郊外立地が多くなっています。
- ・市役所 1 km 圏へ立地が多い施設は、高校（集積率 67%）、医療施設（集積率 54%）が高くなっています。

■主要拠点 1 km 圏における公共公益施設等立地割合



◇主要拠点（市役所・支所 1km 圏）公共公益施設等立地数（箇所、ha）

項目	市役所 1km圏	泗水支所 1km圏	七城支所 1km圏	旭志支所 1km圏	拠点合計	それ以外	計
市町村役場・公的集会施設	6	4	4	2	16	6	22
市役所・支所・出張所・連絡所	1	1	1	1	4	0	4
公立公民館・集会施設	5	3	3	1	12	6	18
文化施設	6	3	4	3	16	23	39
スポーツ施設	6	3	4	3	16	23	39
医療施設	37	9	2	1	49	19	68
病院	2	1	0	0	3	2	5
医院	22	4	1	0	27	14	41
歯科診療所	13	4	1	1	19	3	22
福祉施設	24	5	3	2	34	65	99
幼稚園	0	1	1	0	2	1	3
保育所等	4	0	1	1	6	16	22
高齢者福祉施設	5	4	1	0	10	23	33
その他福祉施設	15	0	0	1	16	25	41
商業施設	4	5	0	1	10	9	19
商業施設(3,000㎡以上)	2	1	0	0	3	3	6
商業施設(3,000㎡以下)	2	4	0	1	7	6	13
商業用地面積(ha)	28.9	8.1	2.7	1.8	41.6	94.3	135.9
学校	4	1	2	2	9	9	18
小学校	1	0	1	1	3	7	10
中学校	1	1	1	1	4	1	5
高等学校	2	0	0	0	2	1	3

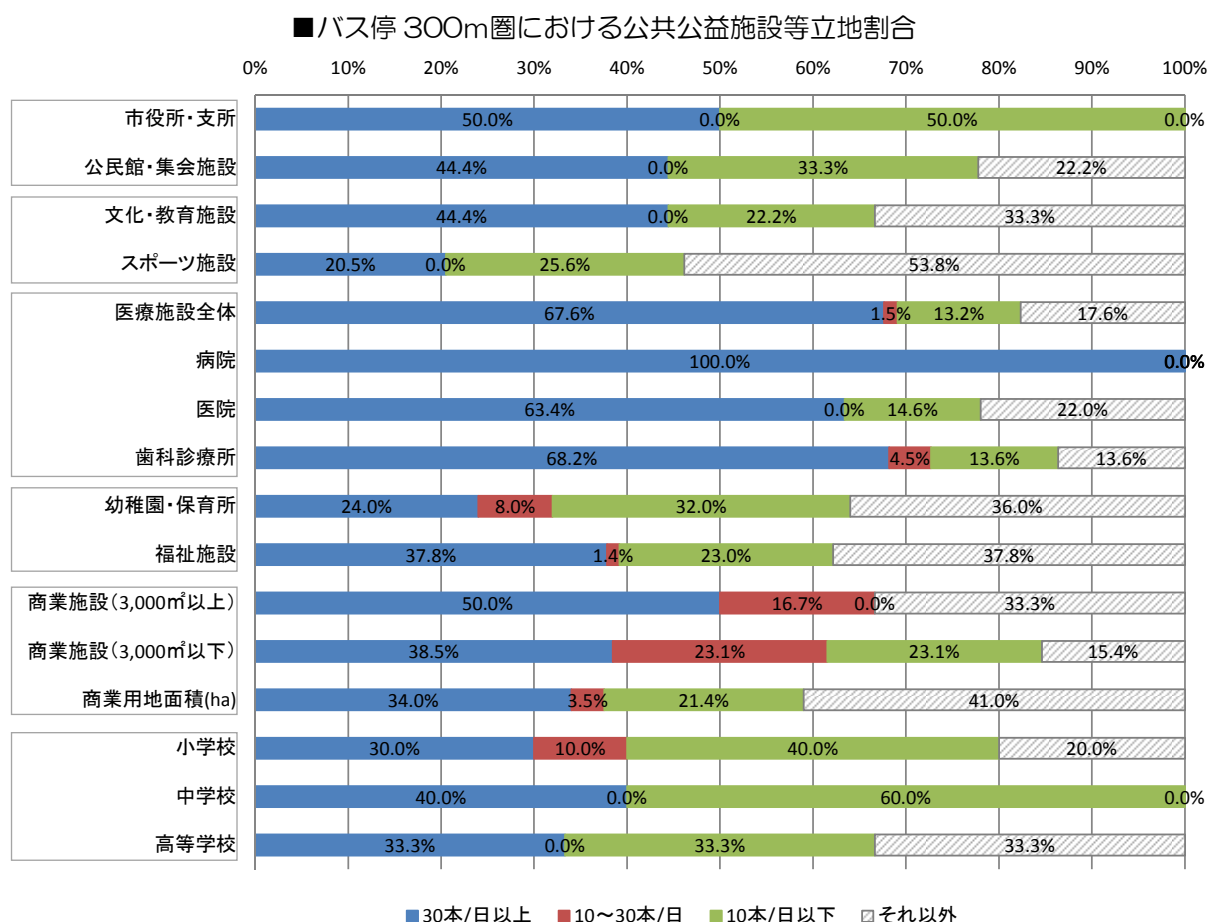
◇主要拠点（市役所・支所 1km 圏）公共公益施設等立地割合（構成比）

	市役所 1km圏	泗水支所 1km圏	七城支所 1km圏	旭志支所 1km圏	拠点合計	それ以外	計
市町村役場・公的集会施設	27.3%	18.2%	18.2%	9.1%	72.7%	27.3%	100.0%
市役所・支所・出張所・連絡所	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	100.0%	0.0%	100.0%
公立公民館・集会施設	27.8%	16.7%	16.7%	5.6%	66.7%	33.3%	100.0%
文化施設	15.4%	7.7%	10.3%	7.7%	41.0%	59.0%	100.0%
スポーツ施設	15.4%	7.7%	10.3%	7.7%	41.0%	59.0%	100.0%
医療施設	54.4%	13.2%	2.9%	1.5%	72.1%	27.9%	100.0%
病院	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	60.0%	40.0%	100.0%
医院	53.7%	9.8%	2.4%	0.0%	65.9%	34.1%	100.0%
歯科診療所	59.1%	18.2%	4.5%	4.5%	86.4%	13.6%	100.0%
福祉施設	24.2%	5.1%	3.0%	2.0%	34.3%	65.7%	100.0%
幼稚園	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	66.7%	33.3%	100.0%
保育所	18.2%	0.0%	4.5%	4.5%	27.3%	72.7%	100.0%
高齢者福祉施設	15.2%	12.1%	3.0%	0.0%	30.3%	69.7%	100.0%
その他福祉施設	36.6%	0.0%	0.0%	2.4%	39.0%	61.0%	100.0%
商業施設	21.1%	26.3%	0.0%	5.3%	52.6%	47.4%	100.0%
商業施設(3,000㎡以上)	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	100.0%
商業施設(3,000㎡以下)	15.4%	30.8%	0.0%	7.7%	53.8%	46.2%	100.0%
商業用地面積(ha)	21.3%	6.0%	2.0%	1.3%	30.6%	69.4%	100.0%
学校	22.2%	5.6%	11.1%	11.1%	50.0%	50.0%	100.0%
小学校	10.0%	0.0%	10.0%	10.0%	30.0%	70.0%	100.0%
中学校	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	80.0%	20.0%	100.0%
高等学校	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	100.0%

2) バス停 300m圏における公共公益施設等の立地特性

- ・主要拠点と同様、都市機能誘導区域の候補地となる可能性のある公共交通軸となるバス停 300m圏について、公共公益施設等の立地状況について見ると以下のような特徴が見られます。
- ・1日運行本数の区分として、①平日片道 30 本/日以上（主に菊池中心市街地及び国道 387 号沿道）、②同 10～29 本/日（主に植木インター菊池線バイパス沿道）、③同 10 本以下/日の3分類とします。
- ・平日片道 30 本/日以上の公共交通の利便性が高い地区で集積が高い施設は、医療施設（集積度約 68%）であり、特に病院（集積率 100%）、歯科診療所（集積率約 68%）が高くなっています。
- ・続いて、市役所・支所（集積率 50%）、商業施設（3,000 m²以上）（集積率 50%）が高くなっています。
- ・一方、バス停 300m圏外の公共交通の利便性が悪い施設は、スポーツ施設（バス停 300m圏外約 54%）、福祉施設（同約 37%）で、幼稚園以外の福祉施設の公共交通利便地区への立地割合が低くなっています。
- ・商業施設については約 79%、商業用地※全体では約 60%がバス停 300m圏にありますますが、片道運行本数 10 本/日以上でみると、商業施設は約 63%、商業用地全体では約 40%と低くなっています。バス交通の便とあまり関係なく商業施設の立地が見られ、買物は自動車等の利便性の良い幹線道路沿道への立地が進んでいます。

※都市計画基礎調査の商業土地利用面積

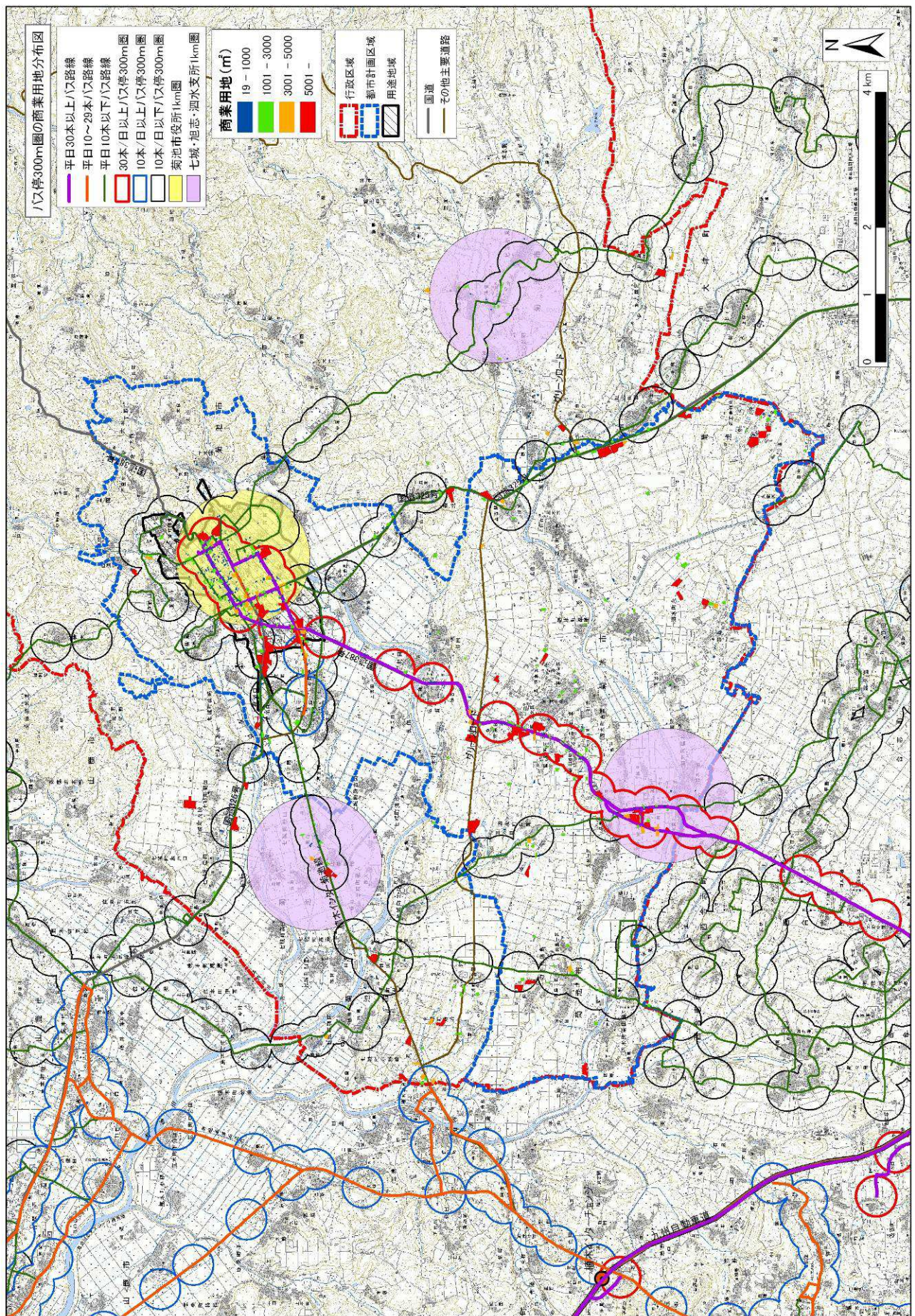


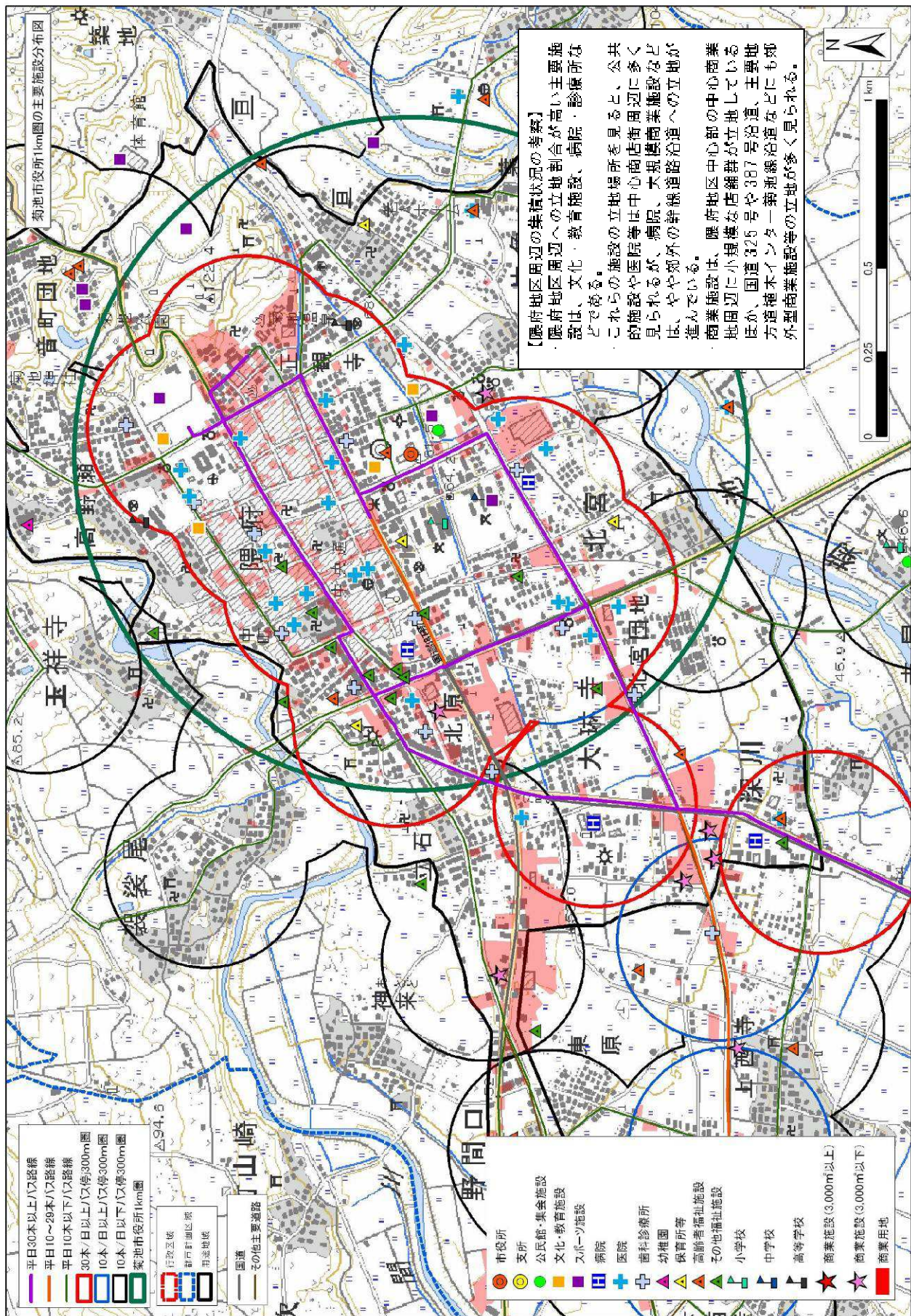
◇バス停 300m 圏公共公益施設等立地数（箇所、ha）

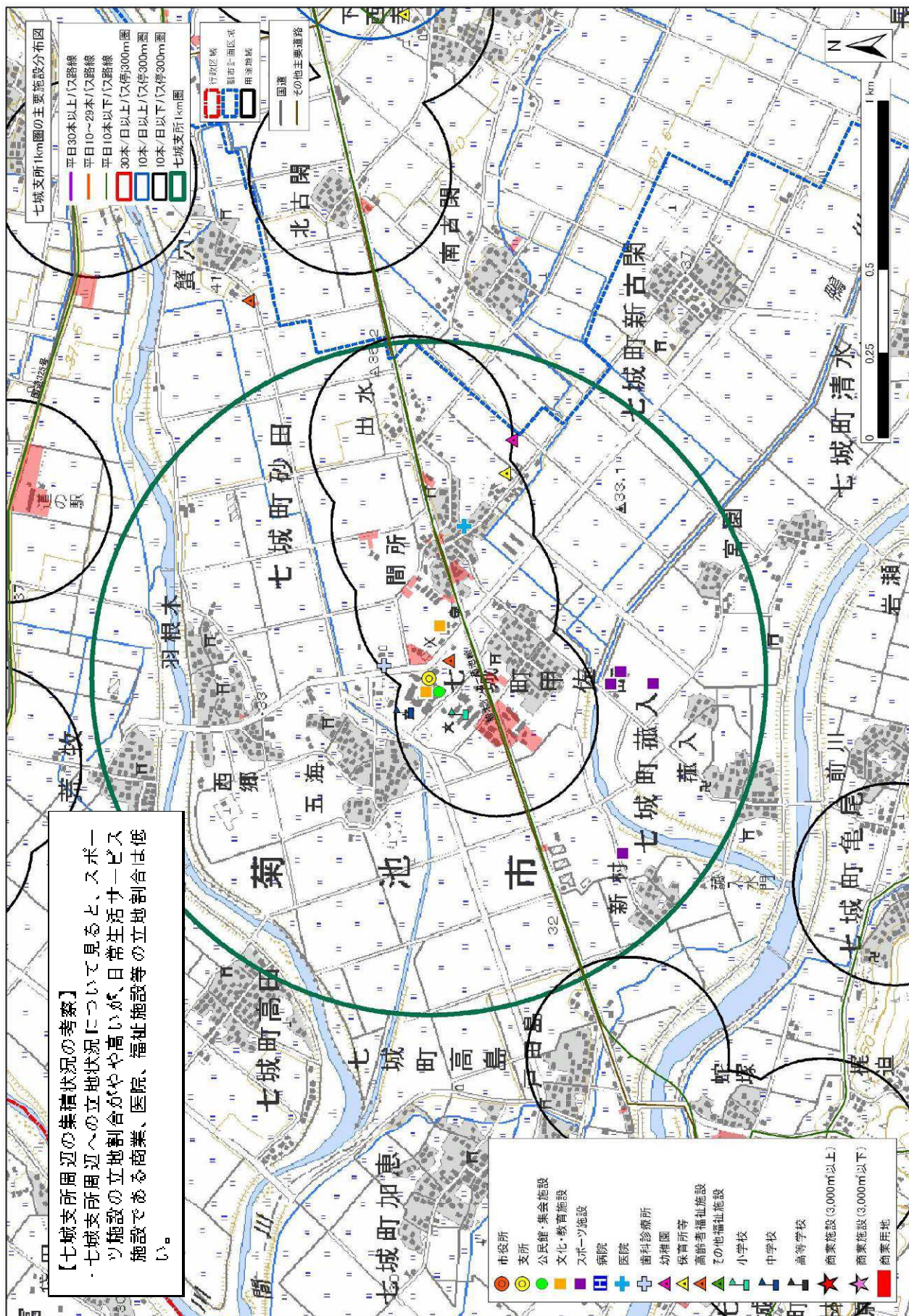
1日当り運行本数	30本/日 以上	10～30本 /日	10本/日 以下	それ以外	計
市役所・公民館等	6	0	5	2	13
市役所・支所	2	0	2	0	4
公民館・集会施設	4	0	3	2	9
文化施設等	12	0	12	24	48
文化・教育施設	4	0	2	3	9
スポーツ施設	8	0	10	21	39
医療施設	46	1	9	12	68
病院	5	0	0	0	5
医院	26	0	6	9	41
歯科診療所	15	1	3	3	22
福祉施設	34	3	25	37	99
幼稚園	1	0	2	0	3
保育所等	5	2	6	9	22
高齢者福祉施設	10	1	11	11	33
その他福祉施設	18	0	6	17	41
商業施設	8	4	3	4	19
商業施設(3,000㎡以上)	3	1	0	2	6
商業施設(3,000㎡以下)	5	3	3	2	13
商業用地面積(ha)	46.2	4.8	29.1	55.7	135.9
学校	6	1	8	3	18
小学校	3	1	4	2	10
中学校	2	0	3	0	5
高等学校	1	0	1	1	3

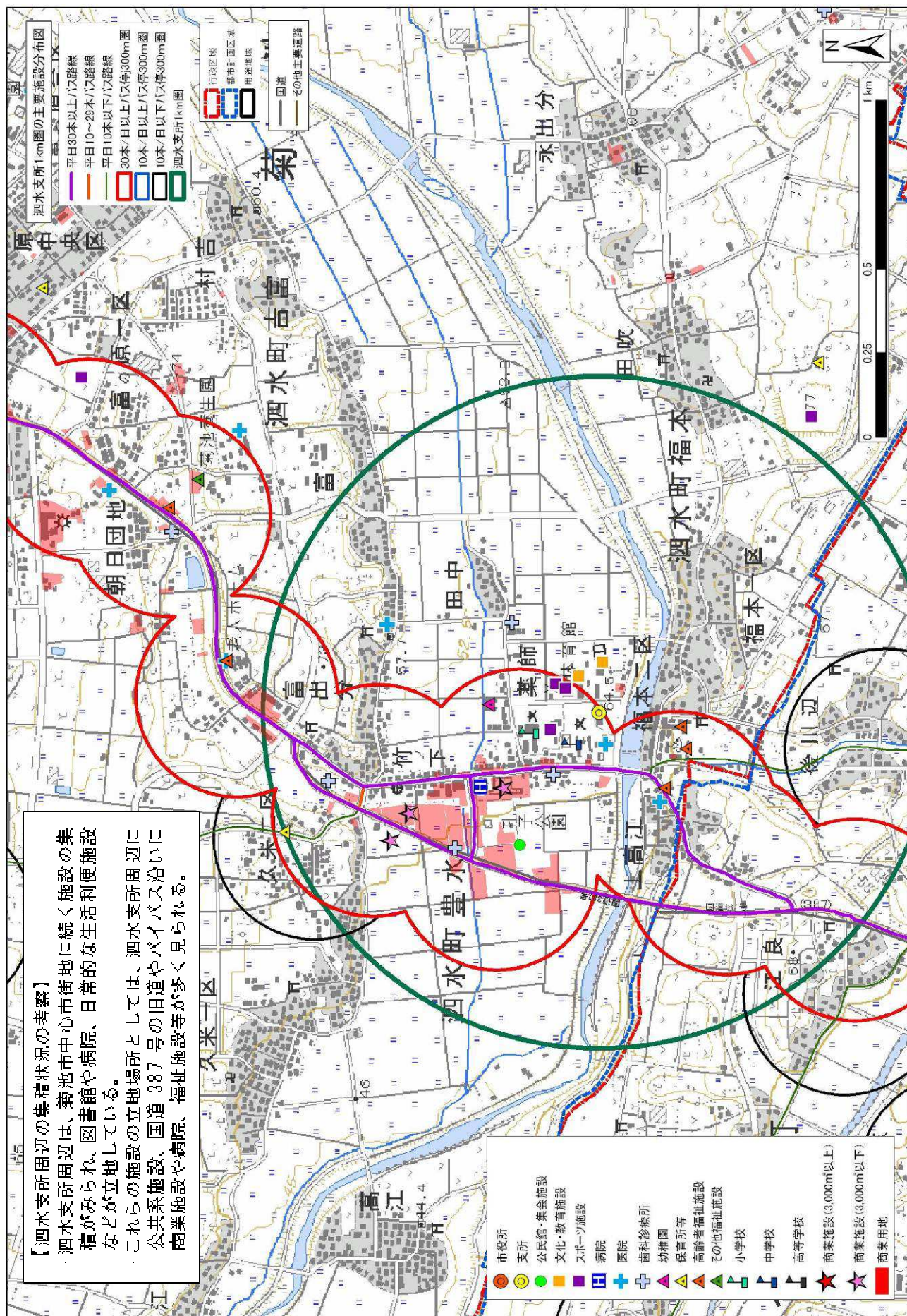
◇バス停 300m 圏公共公益施設等立地割合（構成比）

1日当り運行本数	30本/日 以上	10～30本 /日	10本/日 以下	それ以外	計
市役所・公民館等	46.2%	0.0%	38.5%	15.4%	100.0%
市役所・支所	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	100.0%
公民館・集会施設	44.4%	0.0%	33.3%	22.2%	100.0%
文化施設等	25.0%	0.0%	25.0%	50.0%	100.0%
文化・教育施設	44.4%	0.0%	22.2%	33.3%	100.0%
スポーツ施設	20.5%	0.0%	25.6%	53.8%	100.0%
医療施設	67.6%	1.5%	13.2%	17.6%	100.0%
病院	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
医院	63.4%	0.0%	14.6%	22.0%	100.0%
歯科診療所	68.2%	4.5%	13.6%	13.6%	100.0%
福祉施設	34.3%	3.0%	25.3%	37.4%	100.0%
幼稚園	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	100.0%
保育所等	22.7%	9.1%	27.3%	40.9%	100.0%
高齢者福祉施設	30.3%	3.0%	33.3%	33.3%	100.0%
その他福祉施設	43.9%	0.0%	14.6%	41.5%	100.0%
商業施設	42.1%	21.1%	15.8%	21.1%	100.0%
商業施設(3,000㎡以上)	50.0%	16.7%	0.0%	33.3%	100.0%
商業施設(3,000㎡以下)	38.5%	23.1%	23.1%	15.4%	100.0%
商業用地面積(ha)	34.0%	3.5%	21.4%	41.0%	100.0%
学校	33.3%	5.6%	44.4%	16.7%	100.0%
小学校	30.0%	10.0%	40.0%	20.0%	100.0%
中学校	40.0%	0.0%	60.0%	0.0%	100.0%
高等学校	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	100.0%





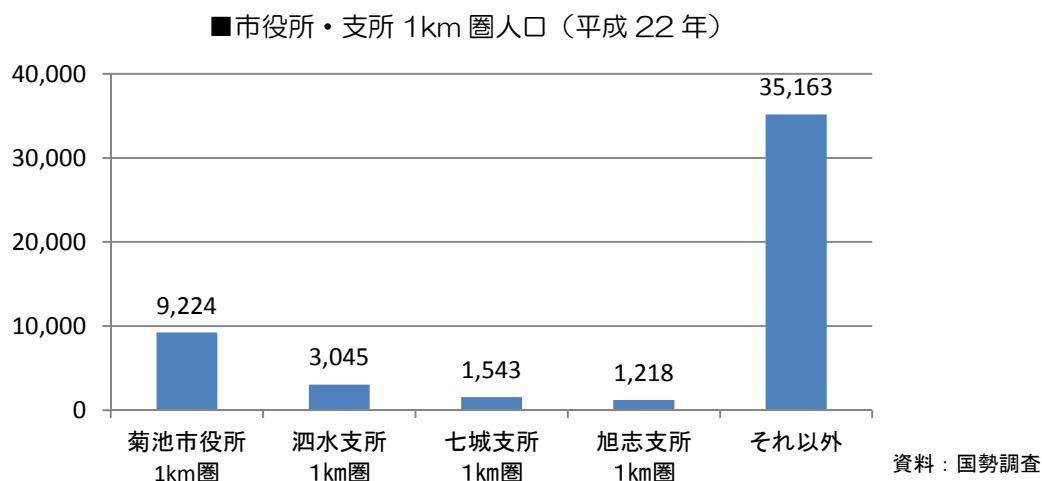




(2) 現況人口分布

1) 市役所・支所 1km圏

- 500mメッシュ人口を100mメッシュに変換し※、旧4市町村の中心地区（以下主要拠点と呼びます）の1km圏について、人口分布状況（平成22年）について見ると以下のような特徴が見られます。
- 市役所1km圏が全市人口の18.4%と、主要拠点の中で最も多くなっています。
- 続いて泗水支所周辺が6.1%、七城支所周辺が3.1%、旭志支所周辺が2.4%の順になっています。
- 泗水地域では、支所周辺より、北側の富の原地区、東側の桜山地区での人口集積が多く見られます。
- 市役所、支所周辺の人口分布という点で見ると、菊池市役所周辺（隈府地区）が中心拠点、泗水支所周辺がそれに続く地域拠点としての位置づけが想定されます。



◇市役所・支所 1km 圏人口（平成 22 年）

	菊池市役所 1km圏	泗水支所 1km圏	七城支所 1km圏	旭志支所 1km圏	それ以外	合計
人口 (H22)	9,224	3,045	1,543	1,218	35,163	50,193
構成比	18.4%	6.1%	3.1%	2.4%	70.1%	100.0%

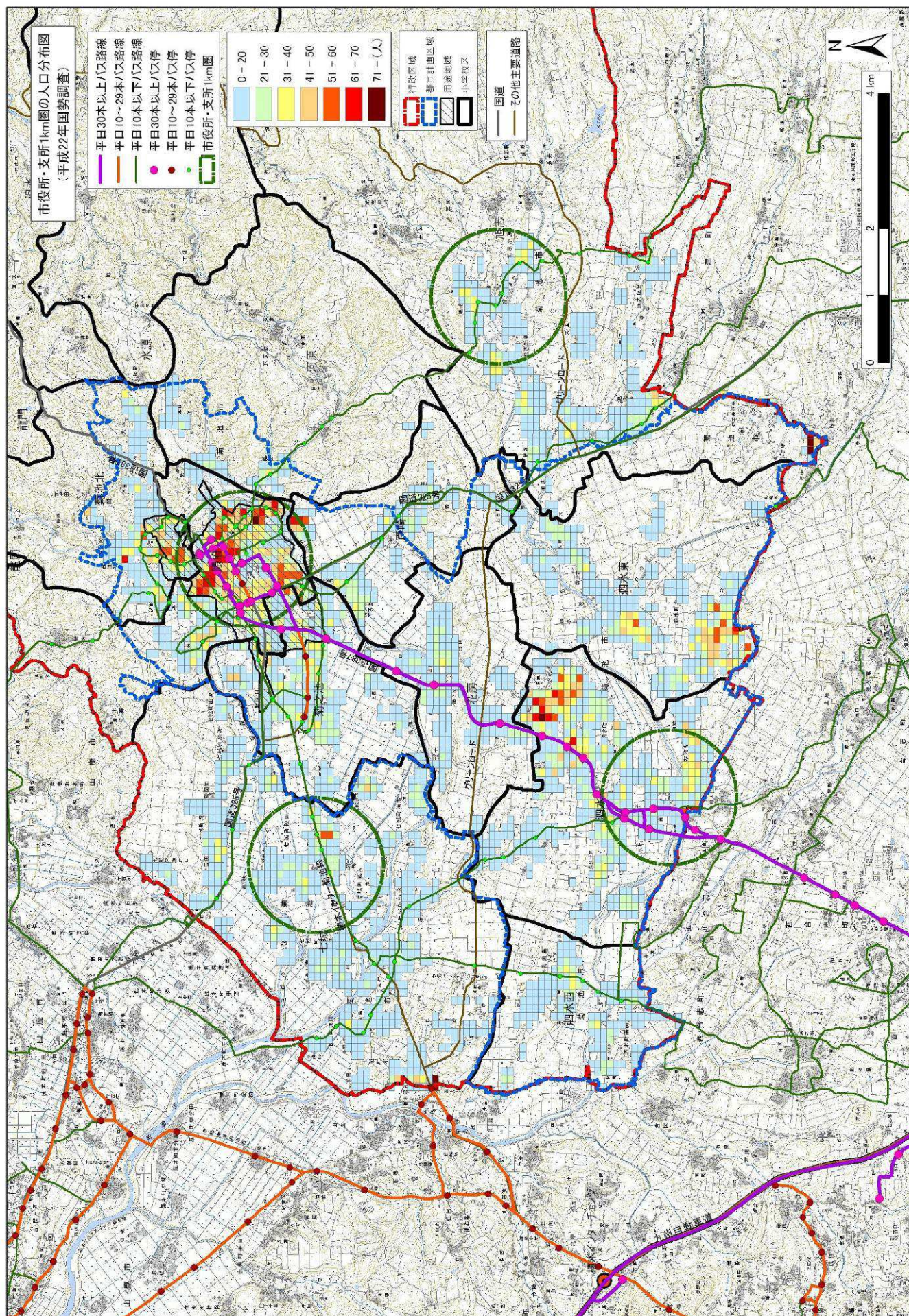
資料：国勢調査

【※算出方法】

- 平成22年国勢調査500mメッシュ人口をもとに、100mメッシュに変換
- 都市計画基礎調査の土地利用現況データを用い、住宅・併用住宅・商業用地のそれぞれのメッシュ内面積の割合で配分

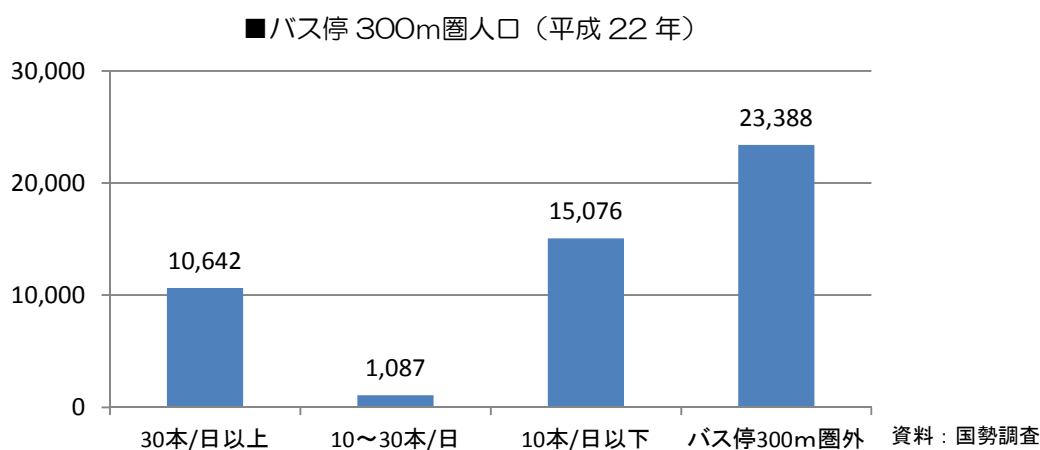
100mメッシュ人口＝

500mメッシュ人口×100mメッシュ住宅・商業面積÷500mメッシュ住宅・商業面積



2) バス停 300m圏

- ・バス停 300m圏について、人口分布状況（平成 22 年）について見ると以下のような特徴が見られます。
- ・平日片道運行本数が 30 本以上のバス停 300m 圏の公共交通の利便性の高い地区に居住する人口割合は 21.2%であり、これを 10 本以上に拡大しても 23.4%の割合となり、あまり変化はありません。
- ・平日片道運行本数が 10 本以下のカバー人口割合は約 30%と比較的多く、バスは通っているが運行本数が少なくて利用しづらい地域が多く見られます。
- ・バス停が 300m圏内にないエリア人口割合は約 45%と多く、特に、泗水地域に多く見られます。
- ・菊池市において公共交通利用の改善のためには、国道や幹線道路の運行本数の増加や、泗水地域の域内循環バス等の導入などが望まれます。

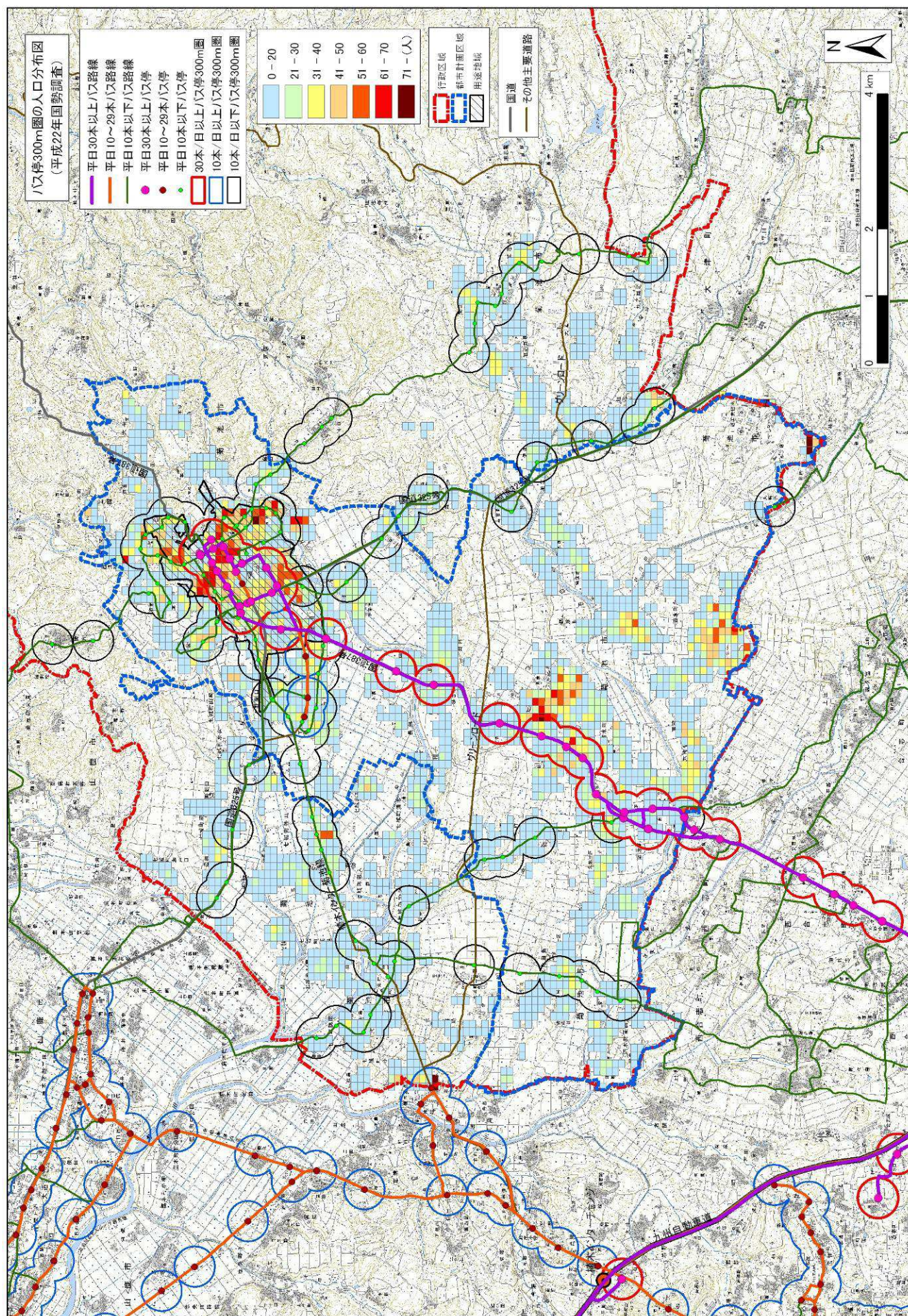


◇バス停 300m圏人口（平成 22 年）

	30本/日以上	10～30本/日	10本/日以下	それ以外	計
夜間人口	11,089	1,757	19,739	17,608	50,193
構成比	22.1%	3.5%	39.3%	35.1%	100.0%
構成比累計	22.1%	25.6%	64.9%	100.0%	—

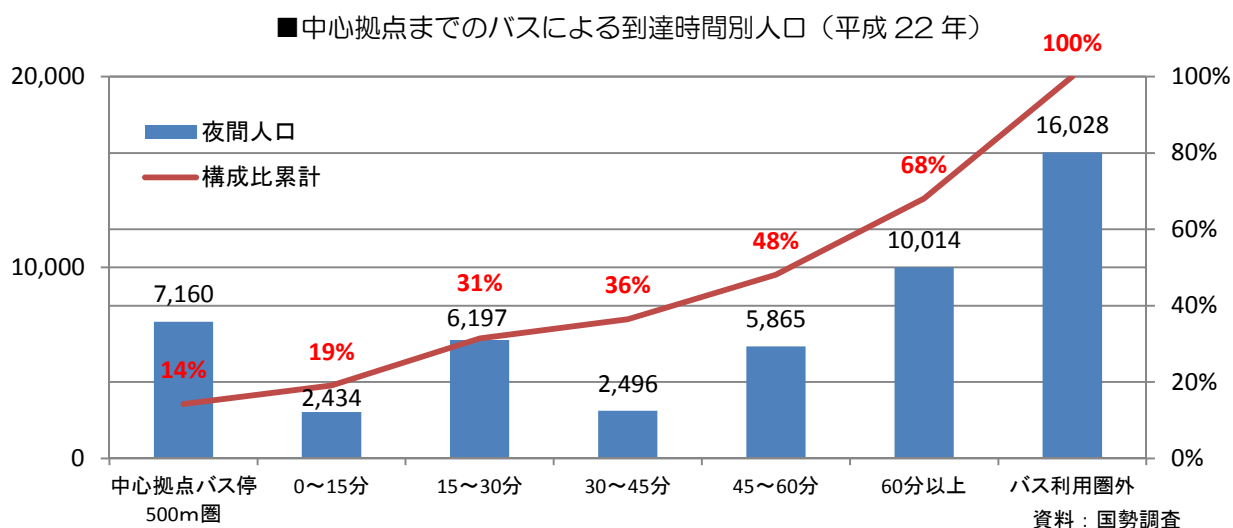
※運行本数は平日片道本数

資料：国勢調査



3) 中心拠点までのバスによる到達時間別人口

- ・自宅から菊池の中心拠点までのバスによる到達時間について、バス運行間隔の 1/2 を待ち時間として加えた到達時間を算定し※、人口分布状況（平成 22 年）について見ると以下のような特徴が見られます。
- ・菊池市の主要市街地から菊池中心拠点までは直線距離で最大約 8 km であり、自家用車では約 20 分以内で到達できる距離です。（時速 30 km/時で算定）
- ・菊池中心拠点までのバスの到達時間で 15 分以内は約 20%、30 分以内は約 30%の人口シェアとなっています。
- ・泗水中心部など、バス運行本数の多い国道 387 号沿いの市街地の利便性は高いが、それ以外の路線の運行本数が少ないため、全体的にバス交通の利便性は低い状況にあります。
- ・現状は自家用車利用が非常に多いと想定されますが（アンケート調査によると、バスの利用率は約 2%程度と非常に少ない状況にあります。）、高齢化社会を迎え、自家用車を運転できない人の増加が予測されるため、バス交通の運行本数の増加や運行路線の拡充などの利便性向上も必要ですが、人口減少社会を迎えバス運行の維持が困難となっている路線も多いと考えられ、幹線的なバス路線沿線への人口集約が望まれます。



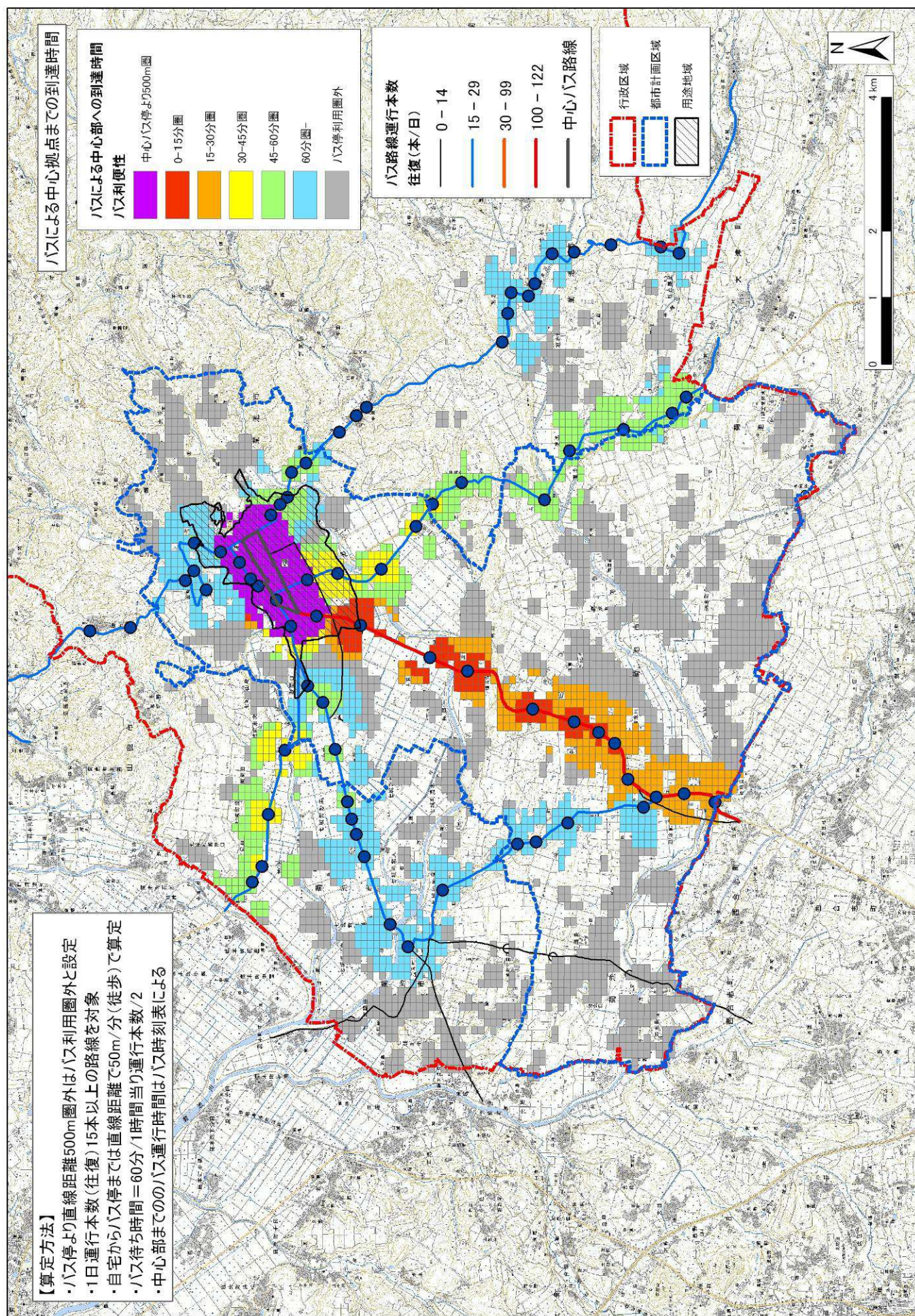
◇中心拠点までのバスによる到達時間別人口（平成 22 年）

	中心拠点バス停500m圏	中心拠点まで0～15分	中心拠点まで15～30分	中心拠点まで30～45分	中心拠点まで45～60分	中心拠点まで60分以上	バス利用圏外	計
夜間人口	7,160	2,434	6,197	2,496	5,865	10,014	16,028	50,193
構成比	14.3%	4.8%	12.3%	5.0%	11.7%	20.0%	31.9%	100.0%
構成比累計	14.3%	19.1%	31.5%	36.4%	48.1%	68.1%	100.0%	—

資料：国勢調査

【※算出方法】

- ・バス停より直線 500m圏外はバス利用圏外と設定
- ・1 日運行本数（往復）15 本/日以上 of 路線を対象
- ・自宅からバス停までは直線距離で 50m/分（徒歩）で算定
- ・バス待ち時間＝60 分/1 時間当たり運行本数/2
- ・中心部までのバス運行時間（走行時間）はバス時刻表による（アクセシビリティ指標活用の手引き（案）、都市計画基礎調査データ分析例（案）を参考にした）



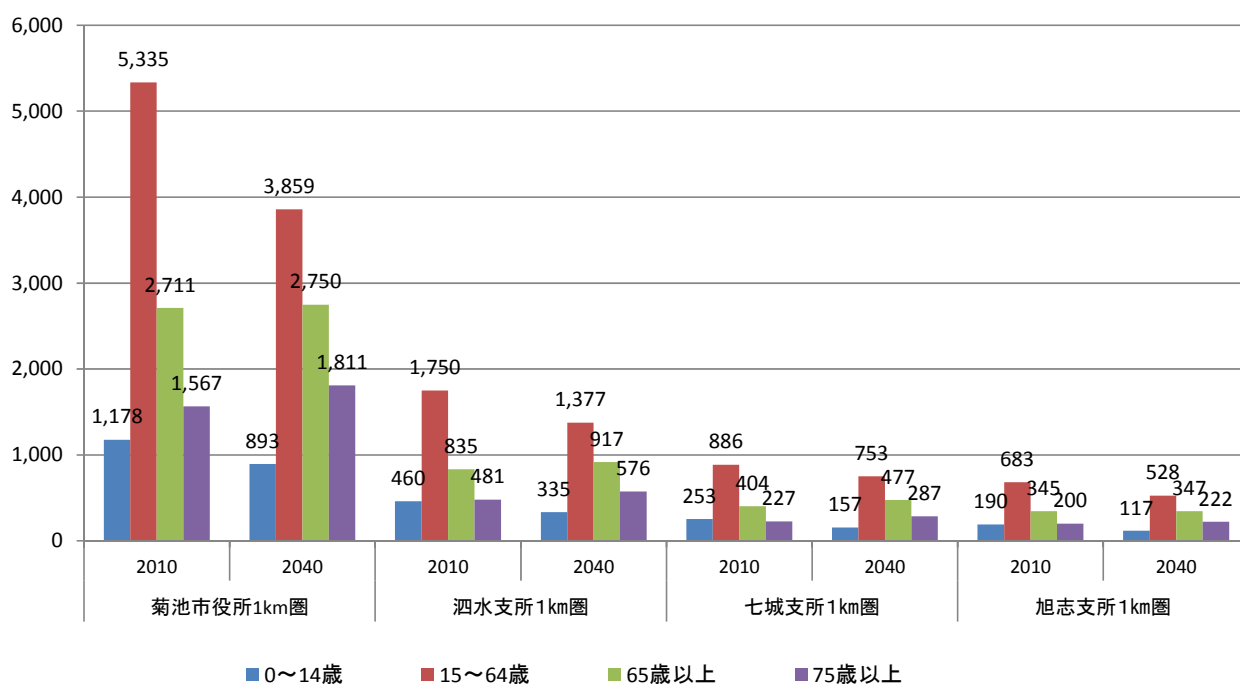
(3) 年齢別将来人口分布

1) 市役所・支所 1 km圏

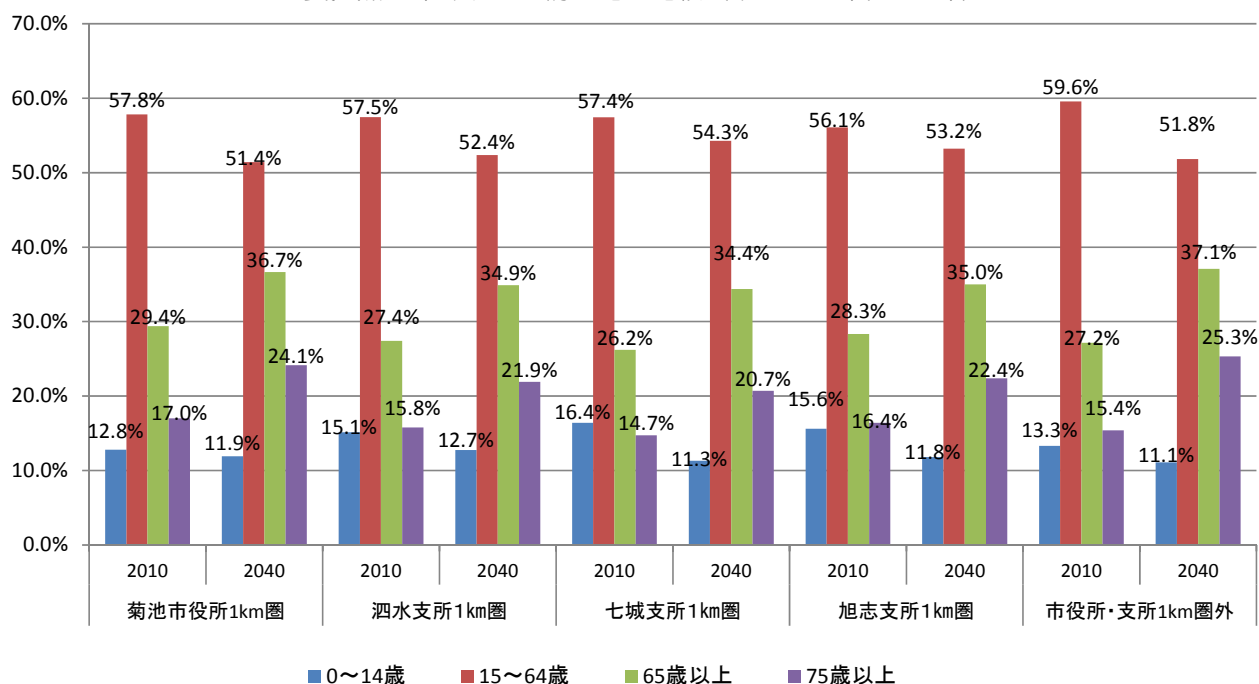
①主要拠点 1 km圏の年齢別人口構成比の特徴

- ・菊池市役所 1km 圏は、4 つの主要拠点で最も少子高齢化が進んでいます。
- ・泗水支所 1km 圏は高齢者比率が低いことが特徴ですが、2040 年には全市の平均に近づくことが想定されます。
- ・七城支所 1km 圏は、2010 年では 0～14 歳人口が多く、65 歳以上人口比率がやや低い特徴を有していますが、2040 年では 0～14 歳人口が大きく減少することが予測されます。
- ・旭志支所 1 km圏も、七城支所 1 km圏と同じような傾向を示します。

■主要拠点の年齢別人口の比較（平成 22 年、52 年）



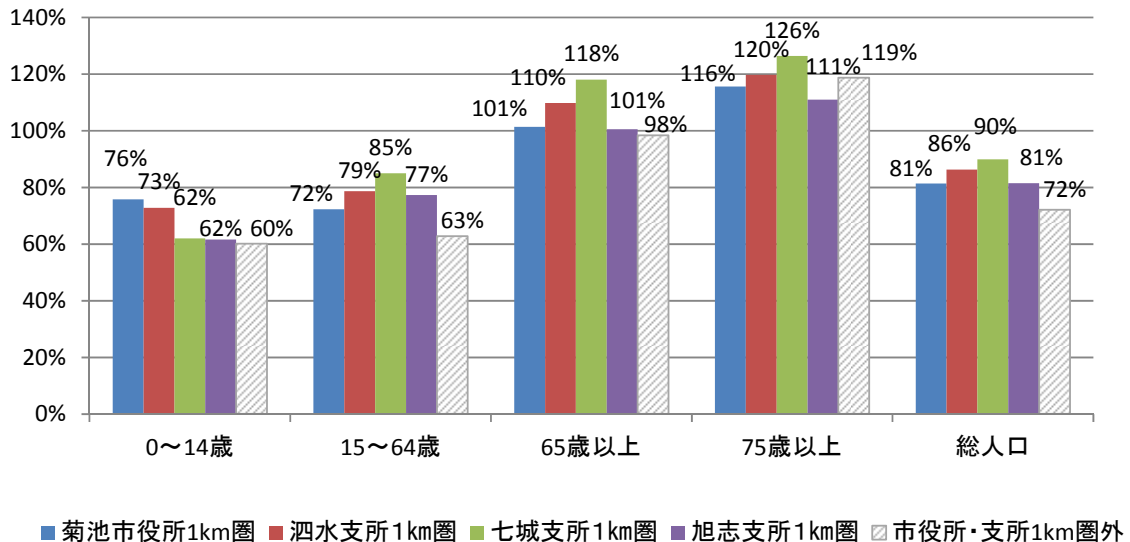
■主要拠点の年齢別人口構成比の比較（平成 22 年、52 年）



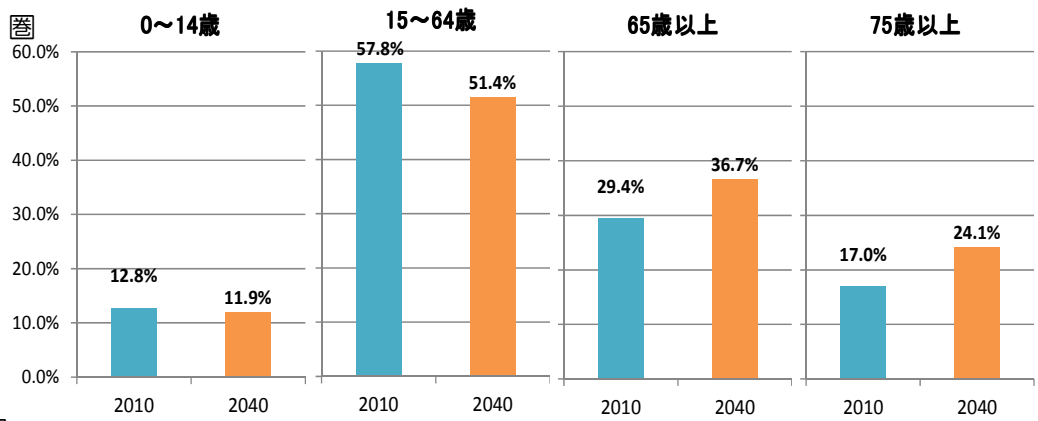
②主要拠点 1 km圏の年齢別人口増減の特徴

- ・主要拠点の 2040 年人口は現在より減少しますが、主要拠点 1 km圏外の総人口の減少率が高くなっています。
- ・0～14 歳人口は、七城支所 1 km圏、旭志支所 1 km圏の減少率が大きくなっています。
- ・15～64 歳人口は、七城支所 1 km圏の減少率が低くなっています。
- ・65 歳以上人口は七城支所 1 km圏の増加率が高く、続いて泗水支所の増加率が高くなっています。
- ・75 歳以上人口は増加を続けますが、七城支所、泗水支所 1 km圏の増加率が高くなっています。
- ・全体的傾向として、泗水支所、七城支所 1 km圏で人口減少率は低いものの、高齢化の進行が進み、市役所・支所 1 km圏外においては、65 歳以下人口の減少が大きく、結果的に総人口が最も減少する傾向が見られます。菊池市役所 1 km圏、旭志支所 1 km圏はその中間的な傾向を示しています。

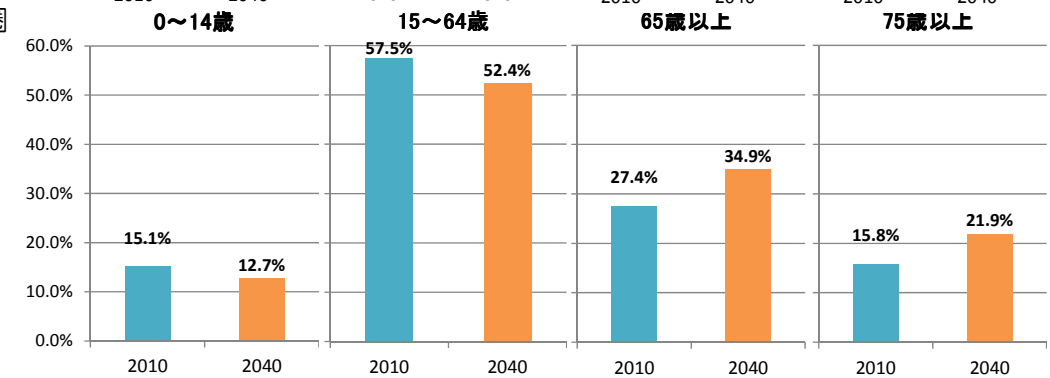
■主要拠点別人口増加率（2040/2010）の比較



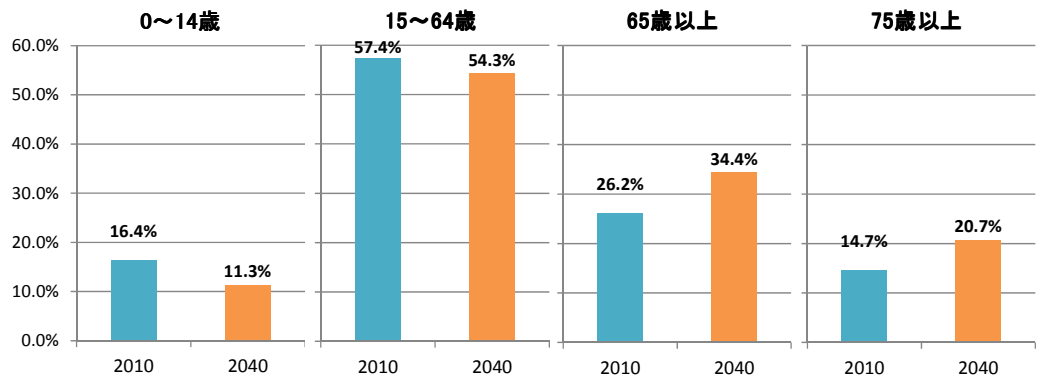
■菊池市役所 1km 圏



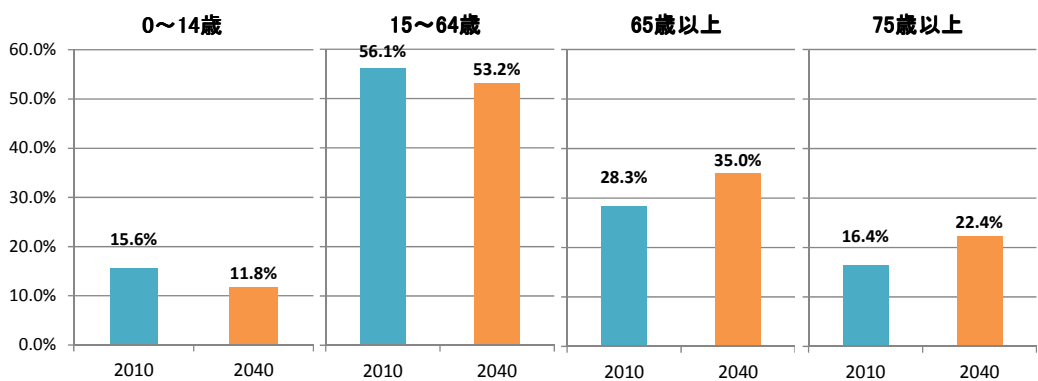
■泗水支所 1km 圏



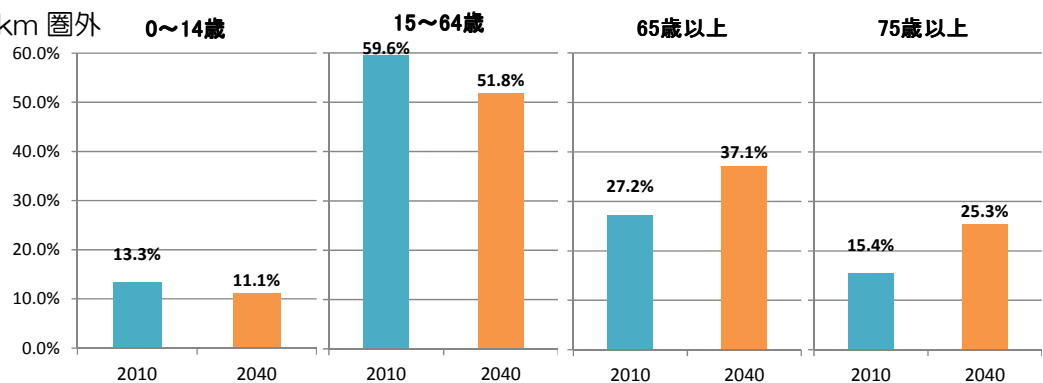
■七城支所 1km 圏



■旭志支所 1km 圏



■市役所・支所 1km 圏外

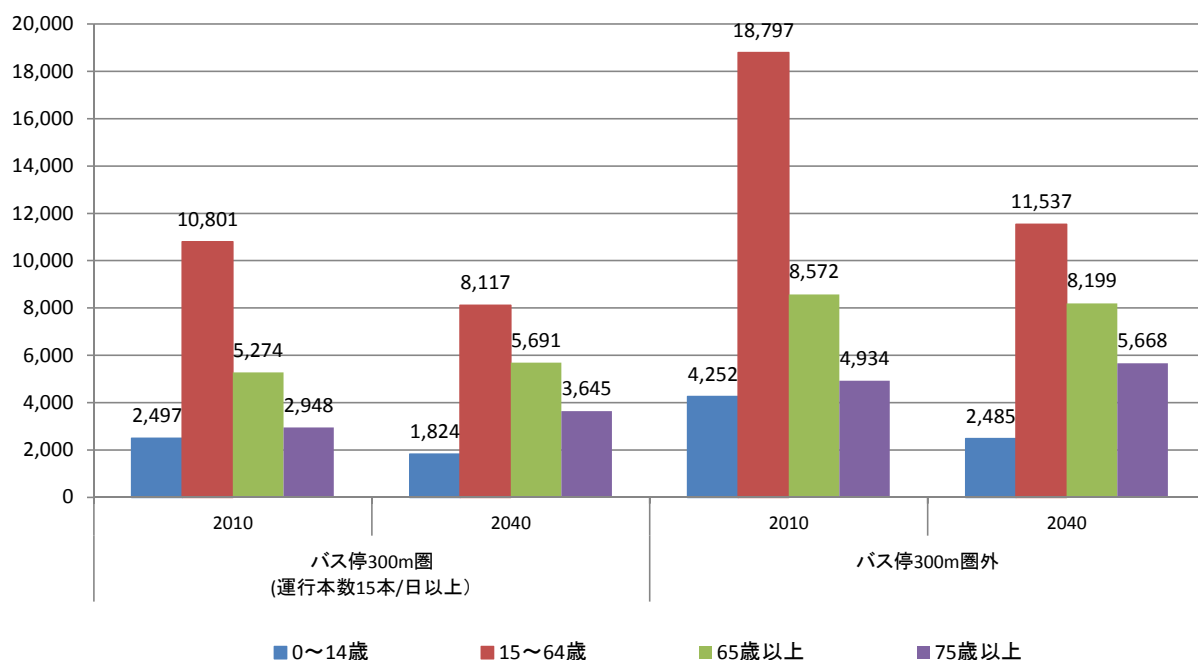


2) バス停 300m圏

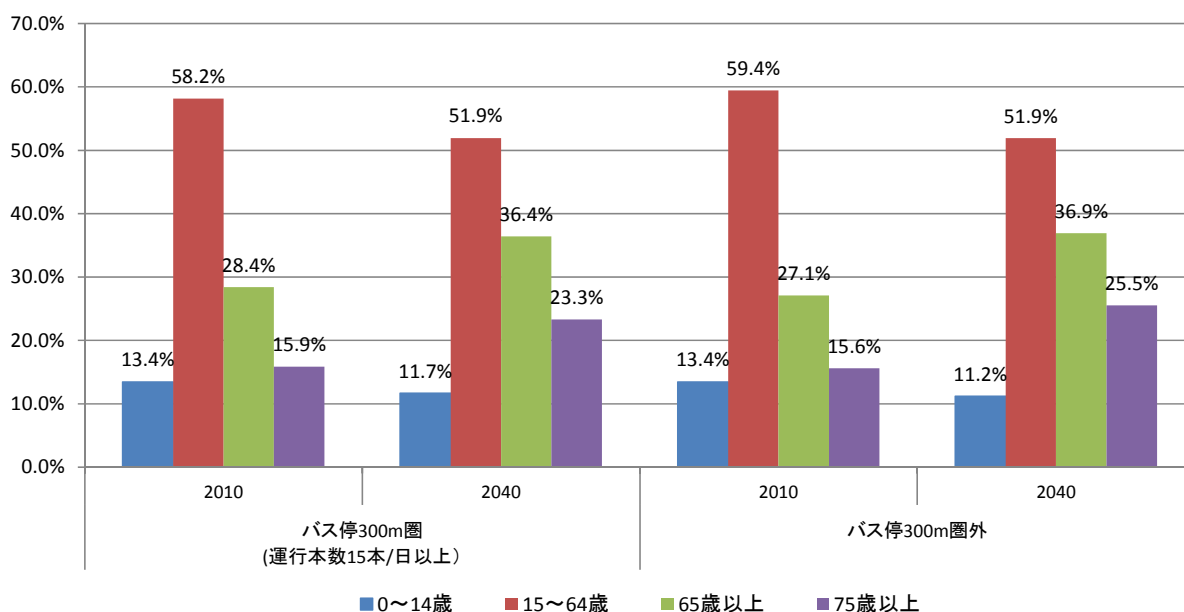
①バス停 300m圏の年齢別人口構成比の特徴

- ・1日往復運行本数が15本/日以上バス停300m圏とそれ以外の地域について、年齢別人口の将来人口の構成比についてみると、その傾向はほとんど相違が見られません。
- ・2010年～2040年にかけて、75歳以上人口比率が10%近く上昇します。この年齢階層では、バス停300m圏の割合がバス停300m圏外よりやや低くなっています。それ以外の年齢階層では相違は少ない状況です。

■バス停 300m 圏内外の年齢別人口の比較（平成 22 年、52 年）

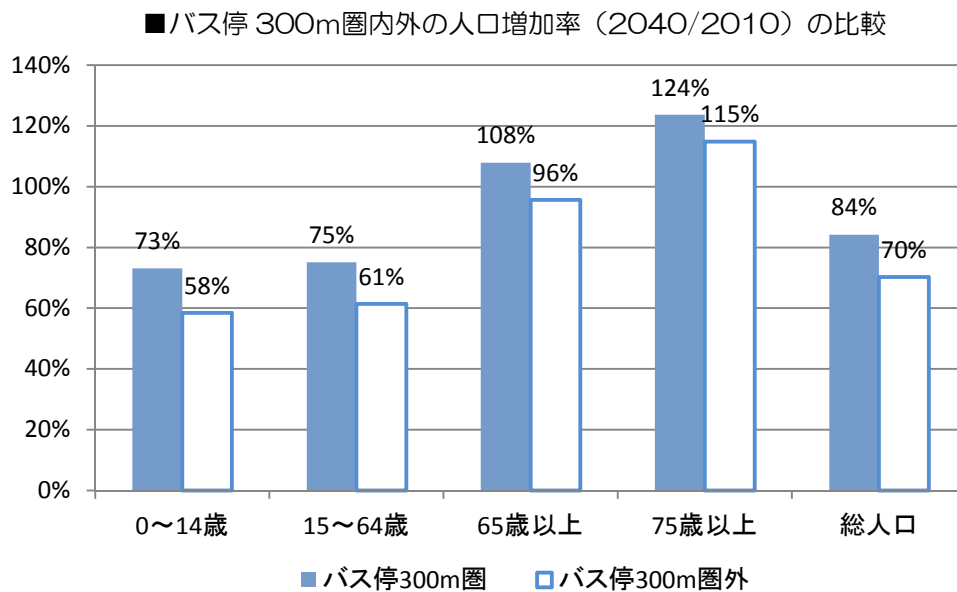


■バス停 300m 圏内外の年齢別人口構成比の比較（平成 22 年、52 年）

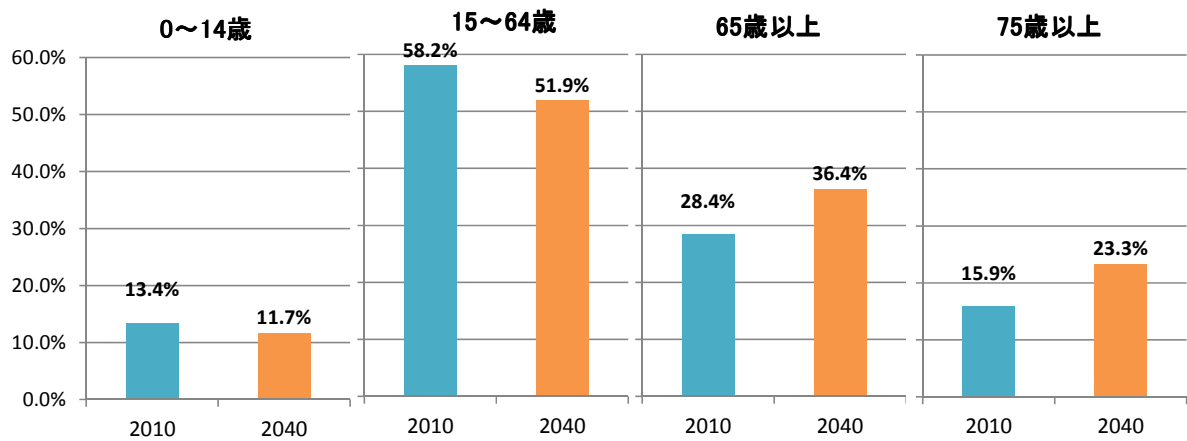


②バス停 300m圏の年齢別人口増減の特徴

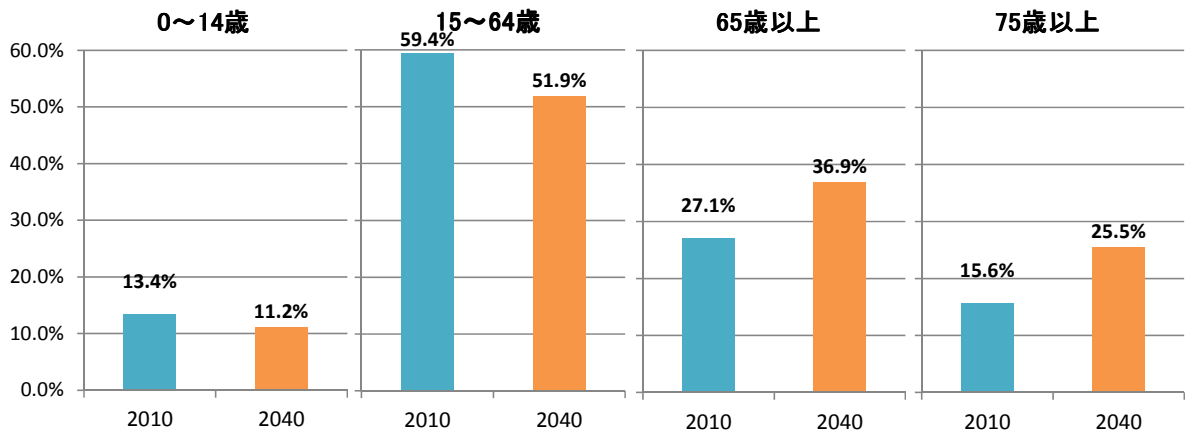
- ・バス停 300m圏内外の 2040 年人口はともに現在より減少しますが、バス停 300m圏外の総人口の減少率が高くなっています。
- ・0～14 歳人口、15～64 歳人口とも、バス停 300m圏の減少率が低くなっています。
- ・65 歳以上人口はバス停 300m圏の方が増加率は高く、75 歳以上も同様です。
- ・全体的傾向として、バス停 300m圏の人口減少率が低く、公共交通の利便性の高い地区への将来的な人口定着傾向が見られるため、このような地区への更なる人口定着を進め、コンパクトシティ化を推進することが望まれます。



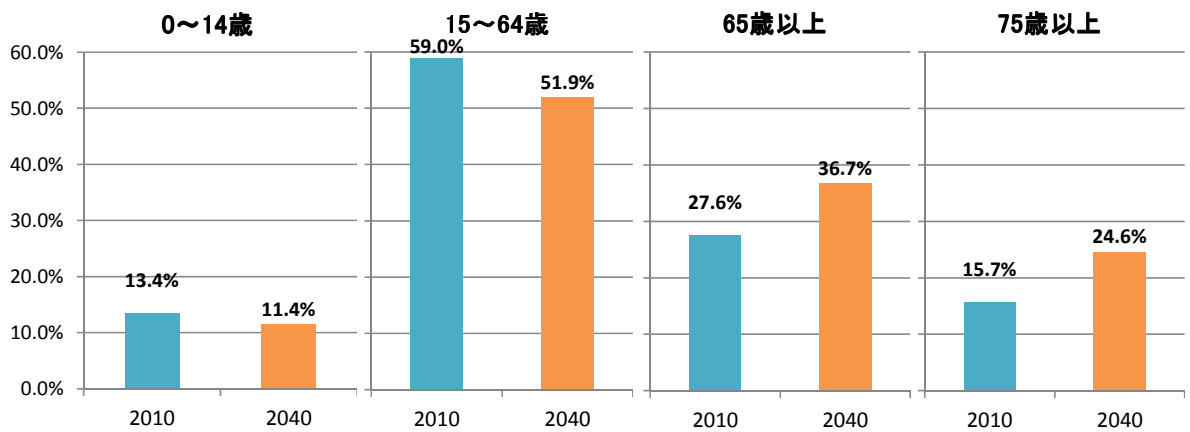
■バス停 300m 圏



■バス停 300m 圏外



■全市



◇バス停 300m圏、主要拠点 1 km圏の年齢別人口の比較

実数(人)		0～14歳	15～64歳	65歳以上	75歳以上	総人口	全市割合
バス停300m圏 (運行本数15本/日以上)	2010	2,497	10,801	5,274	2,948	18,572	37.0%
	2040	1,824	8,117	5,691	3,645	15,632	41.3%
バス停300m圏外	2010	4,252	18,797	8,572	4,934	31,622	63.0%
	2040	2,485	11,537	8,199	5,668	22,221	58.7%
菊池市役所1km圏	2010	1,178	5,335	2,711	1,567	9,224	18.4%
	2040	893	3,859	2,750	1,811	7,502	19.8%
泗水支所1km圏	2010	460	1,750	835	481	3,045	6.1%
	2040	335	1,377	917	576	2,629	6.9%
七城支所1km圏	2010	253	886	404	227	1,543	3.1%
	2040	157	753	477	287	1,387	3.7%
旭志支所1km圏	2010	190	683	345	200	1,218	2.4%
	2040	117	528	347	222	992	2.6%
市役所・支所1km圏外	2010	4,668	20,944	9,551	5,407	35,163	70.1%
	2040	2,807	13,137	9,399	6,417	25,343	67.0%
全市	2010	6,749	29,598	13,846	7,882	50,193	100.0%
	2040	4,309	19,654	13,890	9,313	37,853	100.0%

資料：国勢調査等

◇バス停 300m圏、主要拠点 1 km圏の年齢別人口構成比の比較

構成比(%)		0～14歳	15～64歳	65歳以上	75歳以上	総人口
バス停300m圏 (運行本数15本/日以上)	2010	13.4%	58.2%	28.4%	15.9%	100.0%
	2040	11.7%	51.9%	36.4%	23.3%	100.0%
バス停300m圏外	2010	13.4%	59.4%	27.1%	15.6%	100.0%
	2040	11.2%	51.9%	36.9%	25.5%	100.0%
菊池市役所1km圏	2010	12.8%	57.8%	29.4%	17.0%	100.0%
	2040	11.9%	51.4%	36.7%	24.1%	100.0%
泗水支所1km圏	2010	15.1%	57.5%	27.4%	15.8%	100.0%
	2040	12.7%	52.4%	34.9%	21.9%	100.0%
七城支所1km圏	2010	16.4%	57.4%	26.2%	14.7%	100.0%
	2040	11.3%	54.3%	34.4%	20.7%	100.0%
旭志支所1km圏	2010	15.6%	56.1%	28.3%	16.4%	100.0%
	2040	11.8%	53.2%	35.0%	22.4%	100.0%
市役所・支所1km圏外	2010	13.3%	59.6%	27.2%	15.4%	100.0%
	2040	11.1%	51.8%	37.1%	25.3%	100.0%
全市	2010	13.4%	59.0%	27.6%	15.7%	100.0%
	2040	11.4%	51.9%	36.7%	24.6%	100.0%

資料：国勢調査等

◇バス停 300m圏、主要拠点 1 km圏の年齢別人口構成比の比較（2040／2010）

構成比(%)		0～14歳	15～64歳	65歳以上	75歳以上	総人口
バス停300m圏	2040/2010	73.1%	75.2%	107.9%	123.6%	84.2%
バス停300m圏外	2040/2010	58.4%	61.4%	95.7%	114.9%	70.3%
菊池市役所1km圏	2040/2010	75.8%	72.3%	101.4%	115.6%	81.3%
泗水支所1km圏	2040/2010	72.8%	78.7%	109.8%	119.8%	86.3%
七城支所1km圏	2040/2010	62.1%	85.0%	118.1%	126.4%	89.9%
旭志支所1km圏	2040/2010	61.6%	77.3%	100.6%	111.0%	81.4%
市役所・支所1km圏外	2040/2010	60.1%	62.7%	98.4%	118.7%	72.1%
全市	2040/2010	63.8%	66.4%	100.3%	118.2%	75.4%

資料：国勢調査等

3) メッシュ別将来人口分布

100mメッシュの年齢別人口の将来予測について、現状と比較しながら、その特徴を整理すると、以下のとおりです。

①人口（全年齢）

- ・2040年の人口は現状より減少する傾向がみられます。
- ・2010年は菊池中心市街地周辺、泗水中央部、桜山団地周辺に40人/ha以上のメッシュが比較的集中していますが、2040年では40人/ha以上のメッシュが減少しており、特に菊池中心市街地周辺の人口減少が大きくなると予測されます。

②0～14歳人口

- ・2040年の0～14歳人口はほとんどのメッシュで10人/ha以下となります。
- ・2010年は菊池中心市街地周辺、泗水中央部、桜山団地周辺のほか、幹線道路沿道に5～10人/haのメッシュが比較的集中していますが、2040年は、5～10人/haのメッシュが非常に少なくなり、菊池中心市街地の東側や泗水中央部など限られた地区になると予測されます。

③15～64歳人口

- ・2040年の15～64歳人口は20人/ha以下のメッシュが多くなります。
- ・2010年は菊池中心市街地東側、泗水中央部、桜山団地周辺に30人/ha以上のメッシュが比較的集中していますが、2040年は、40人/ha以上のメッシュがなくなり、30人～40人/haのメッシュも菊池中心市街地の東側や泗水中央部など限られた地区になると予測されます。

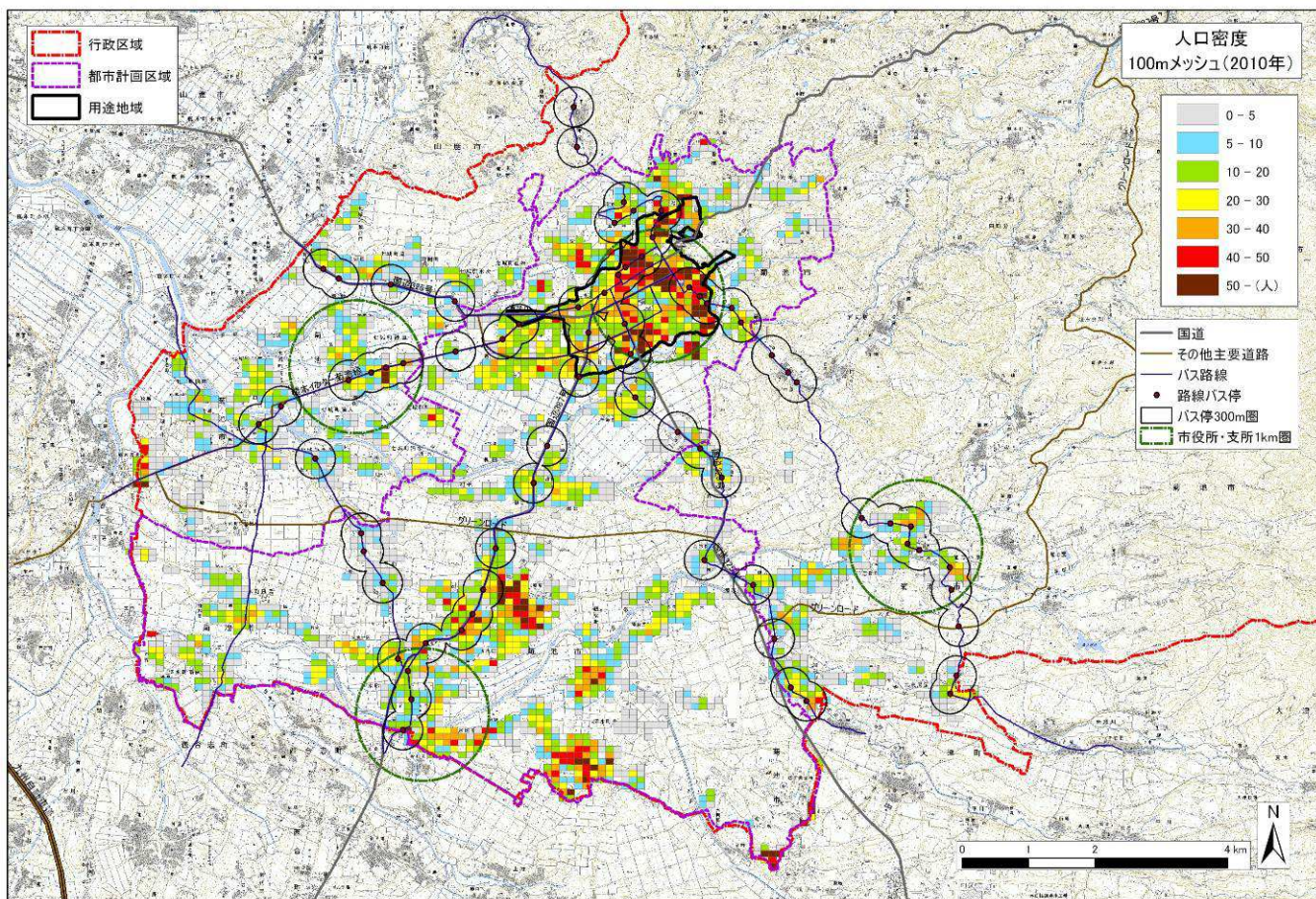
④65歳以上人口

- ・2040年の65歳以上人口分布は現状より拡大する傾向が見られます。
- ・2010年は菊池中心市街地に10～20人/haのメッシュが比較的集中していますが、2040年は菊池中心市街地や泗水中央部、桜山団地周辺などに広がっていくことが予測されます。

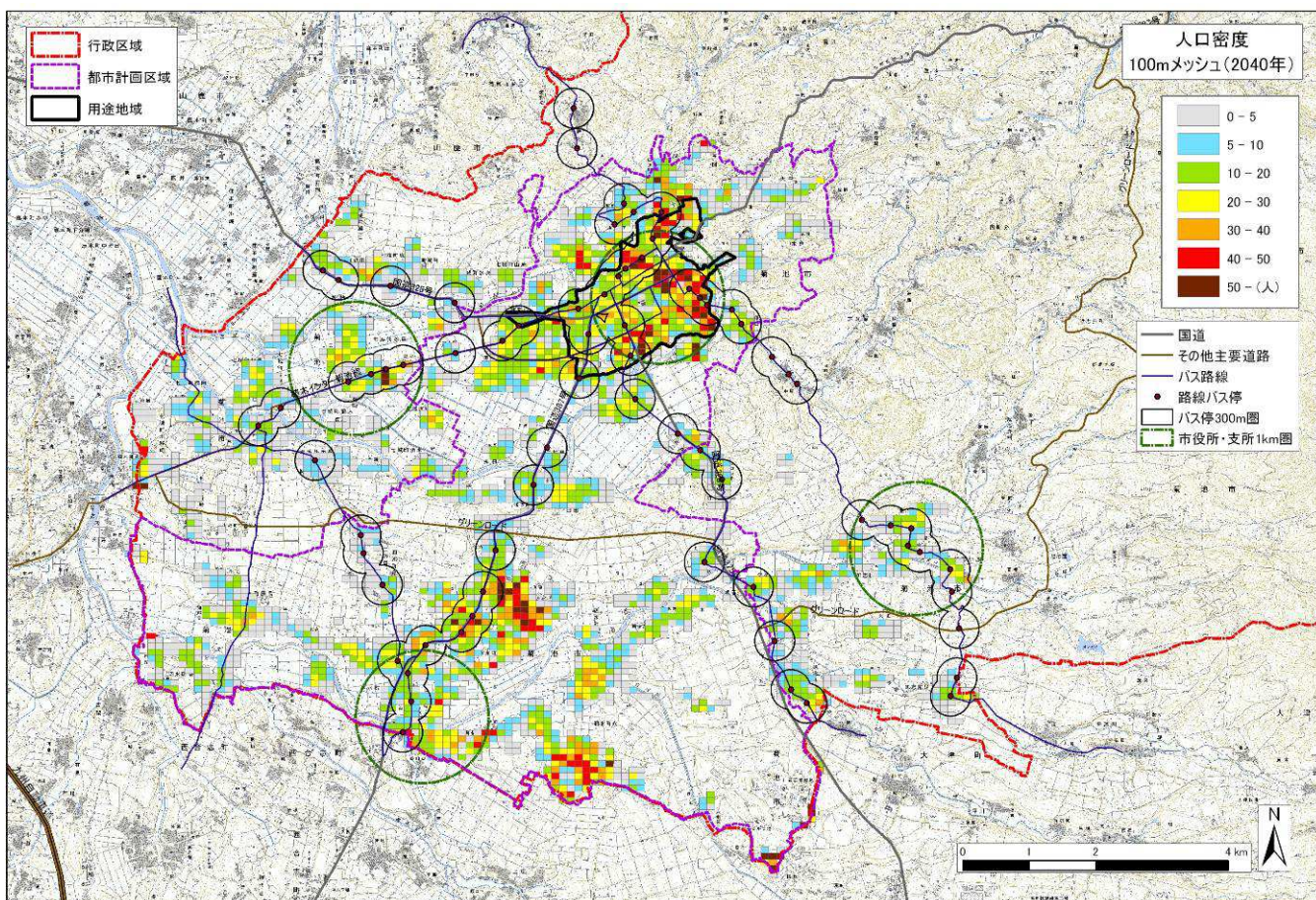
⑤75歳以上人口

- ・2040年の75歳以上人口分布は、65歳以上人口よりさらに拡大する傾向が見られます。
- ・2010年は菊池中心市街地に5～20人/haのメッシュが比較的集中していますが、2040年は菊池中心市街地での一層の高齢化や泗水中央部、桜山団地周辺などに広がっていくことが予測されます。

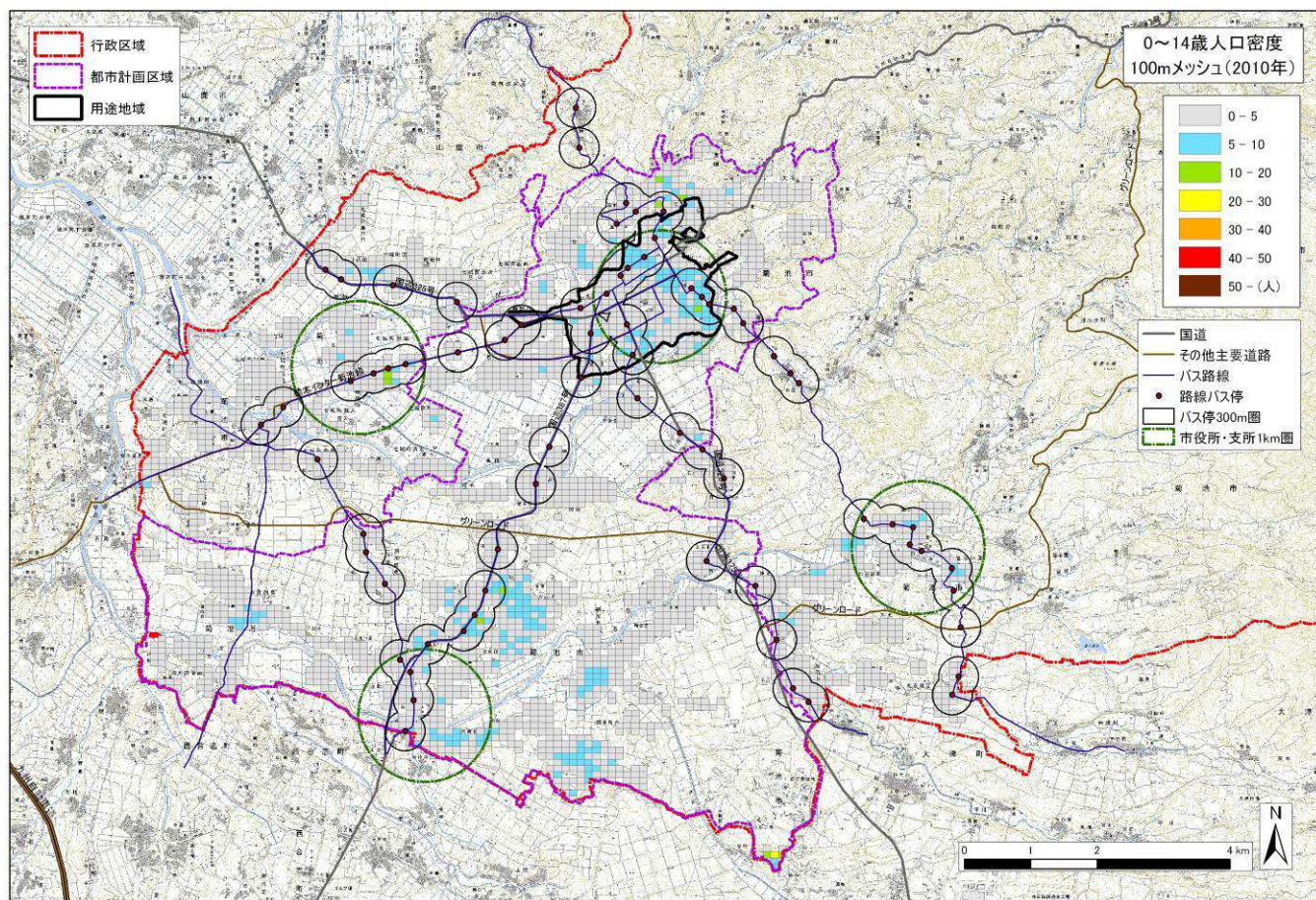
■人口密度（100m メッシュ）全人口（2010 年）



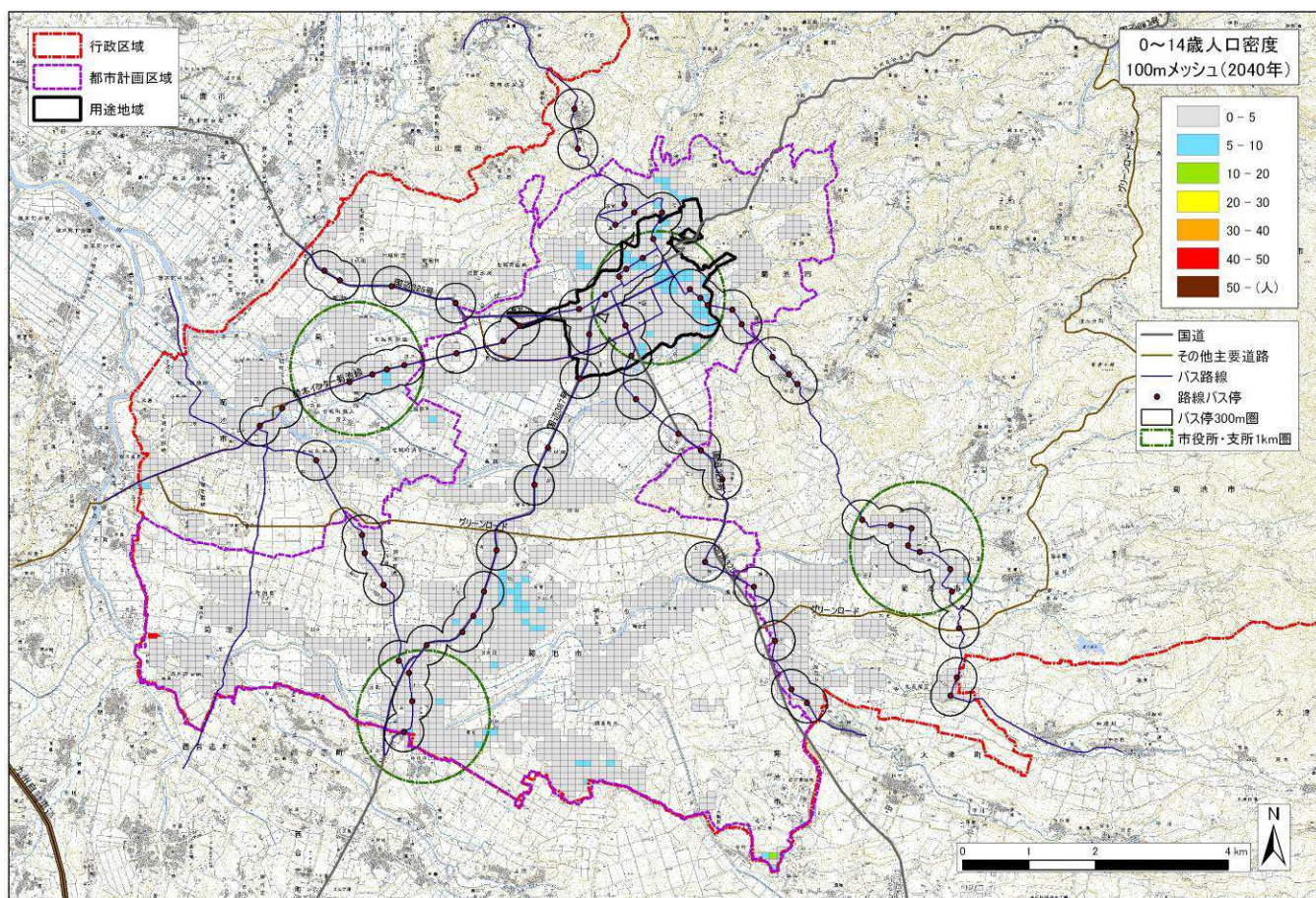
■人口密度（100m メッシュ）全人口（2040 年）



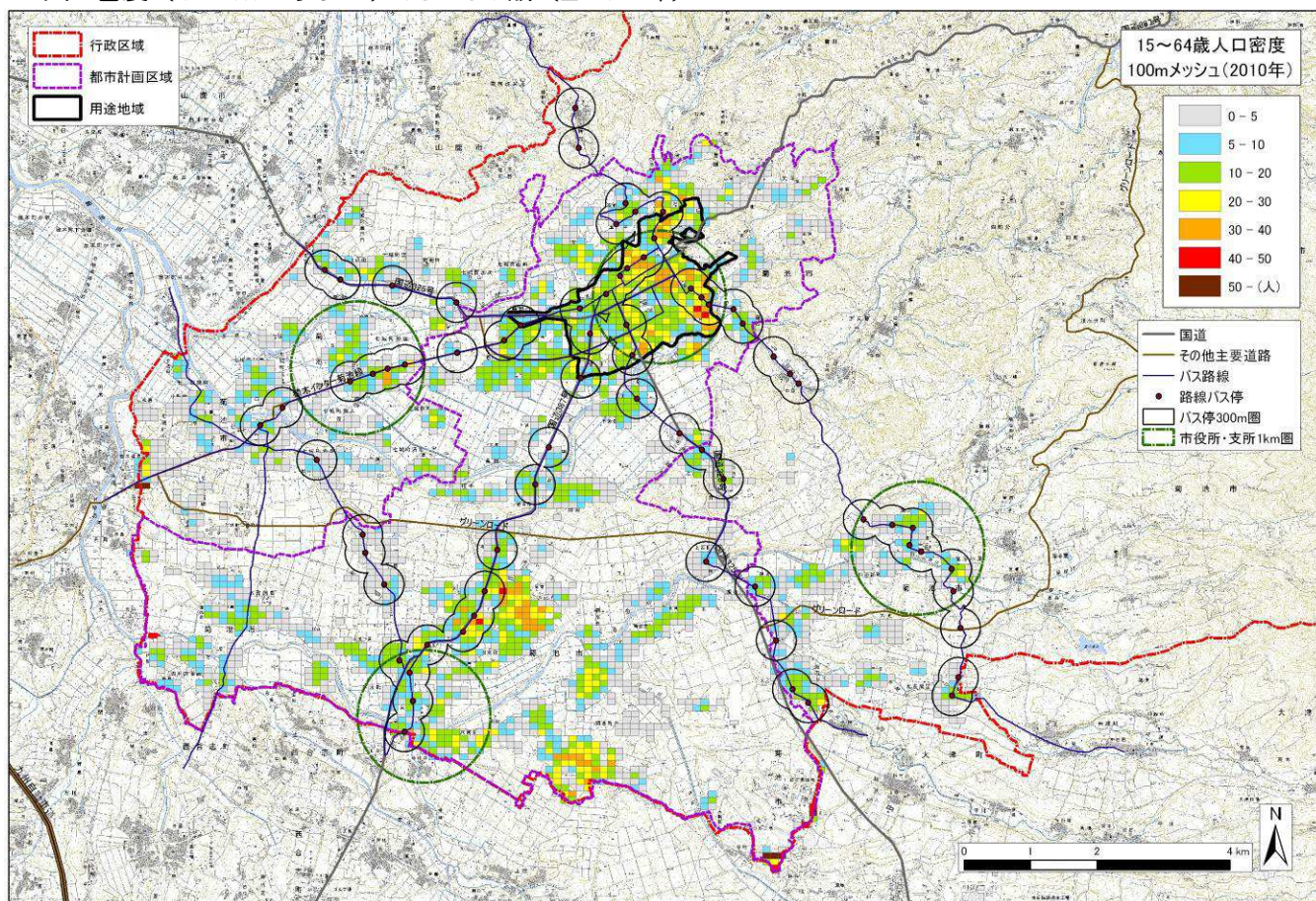
■人口密度（100m メッシュ）0～14 歳（2010 年）



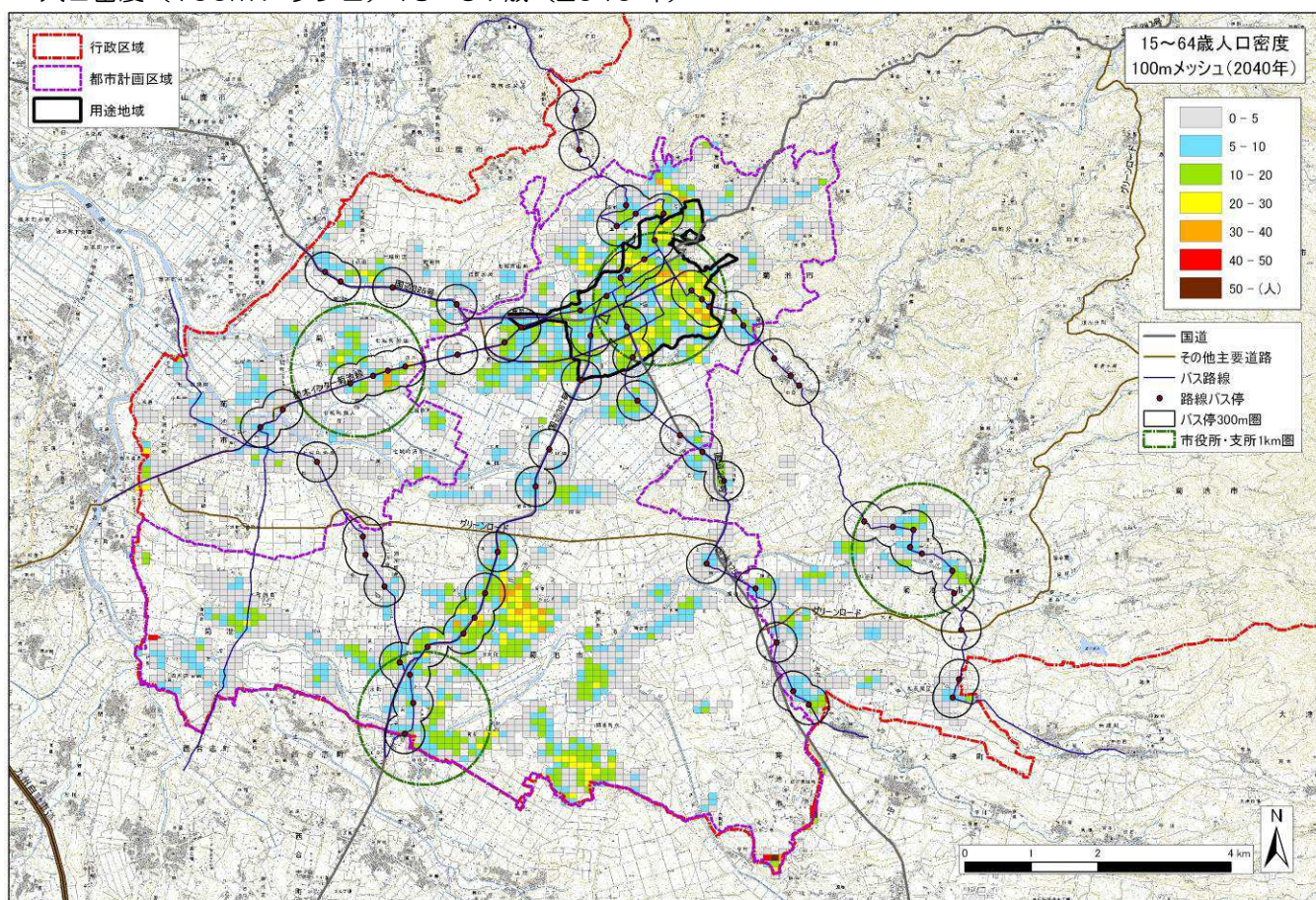
■人口密度（100m メッシュ）0～14 歳（2040 年）



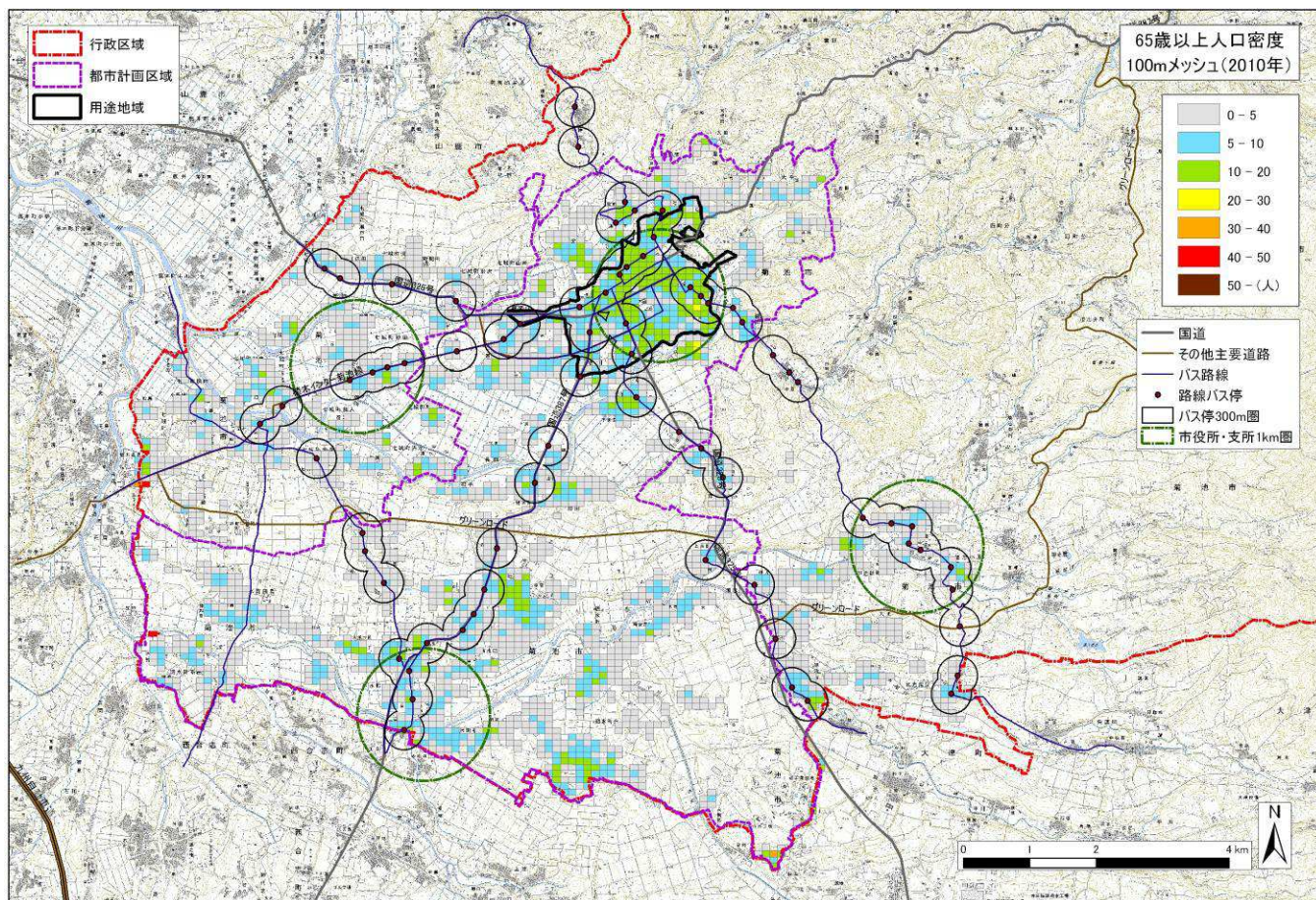
■人口密度（100mメッシュ）15～64歳（2010年）



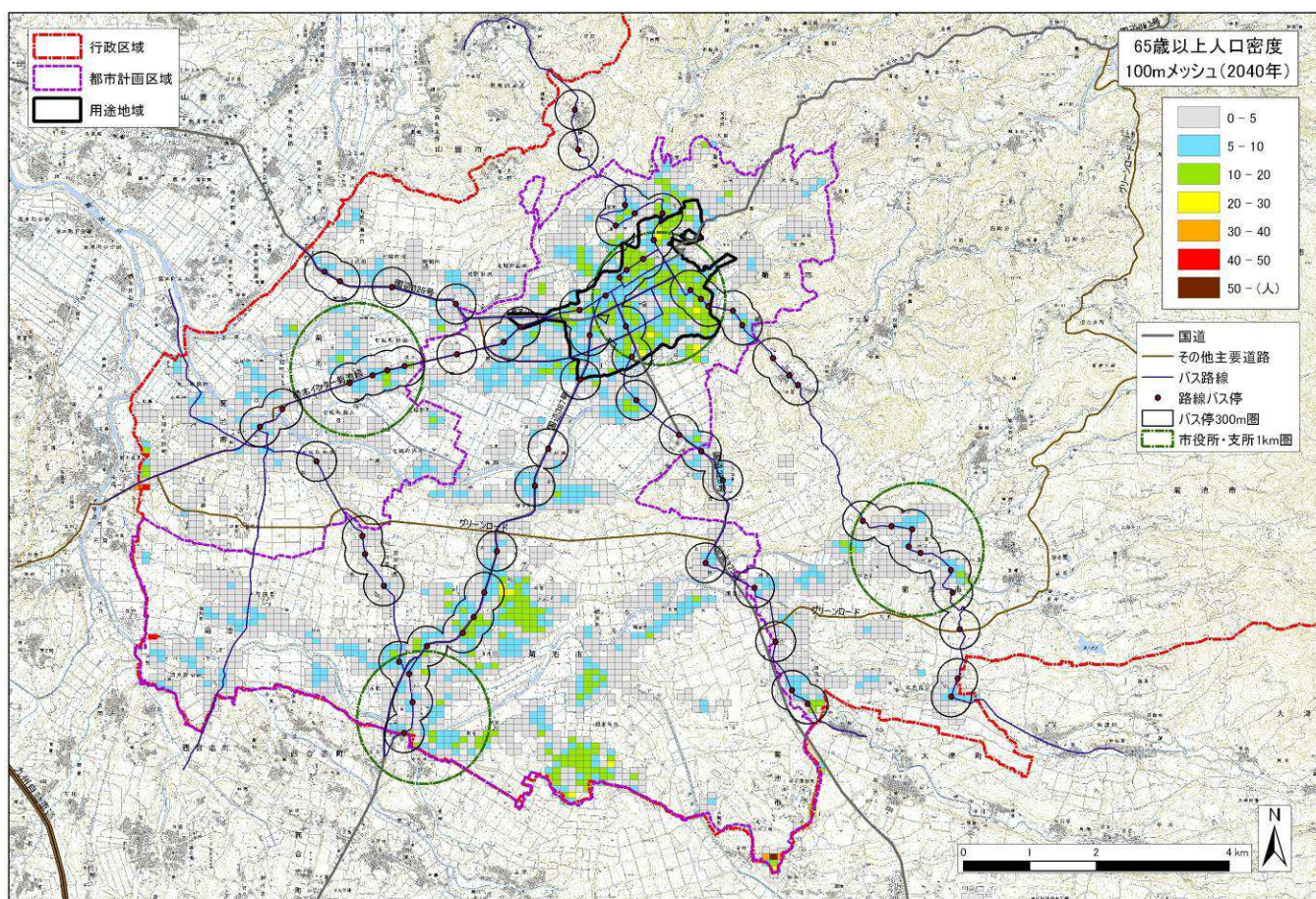
■人口密度（100mメッシュ）15～64歳（2040年）



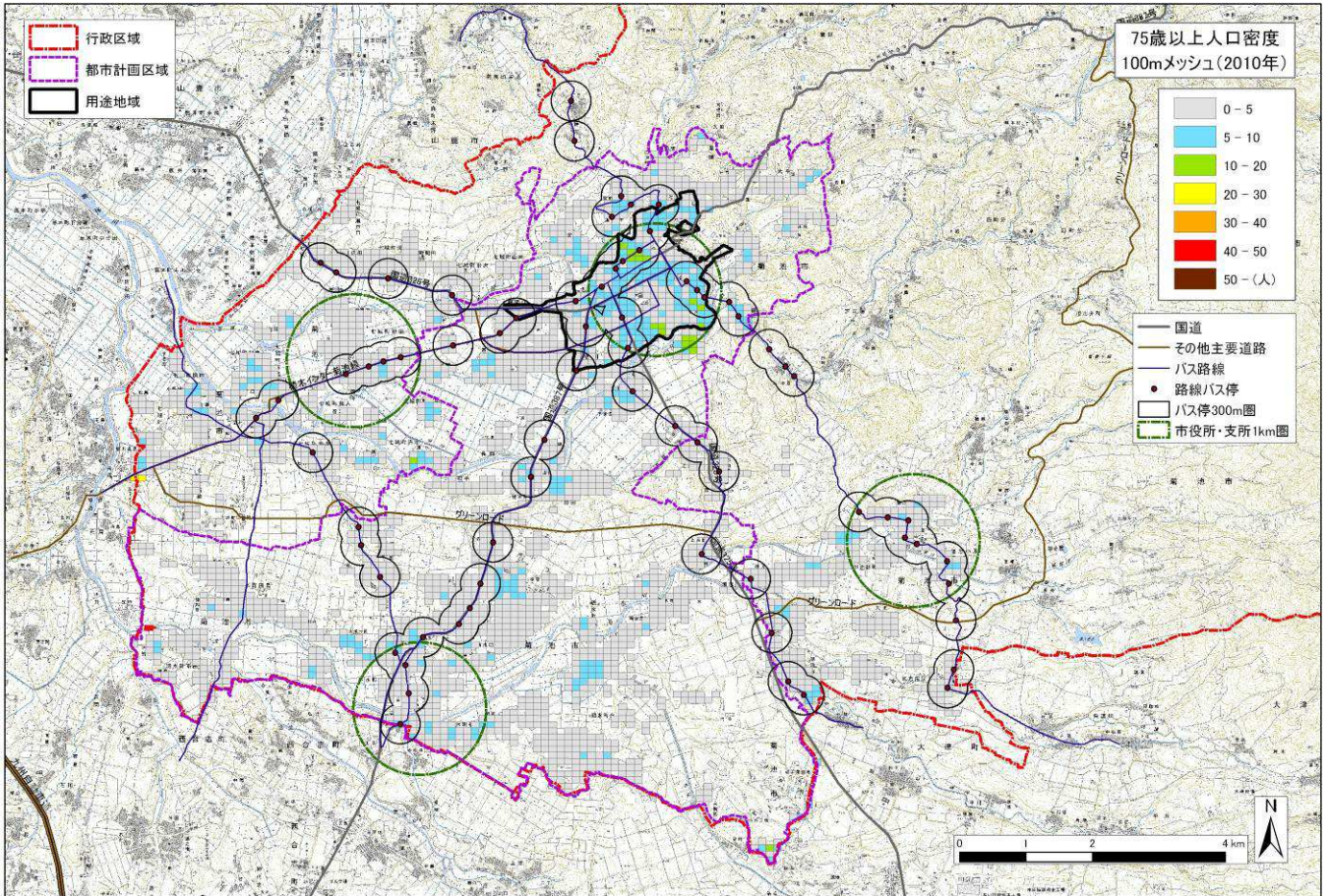
■人口密度（100m メッシュ）65 歳以上（2010 年）



■人口密度（100m メッシュ）65 歳以上（2040 年）



■人口密度（100m メッシュ）75 歳以上（2010 年）



■人口密度（100m メッシュ）75 歳以上（2040 年）

